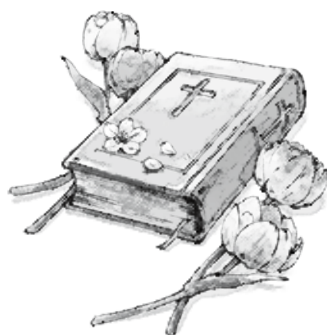

LIFE LIGHT LOVE

2024年度 宗教活動報告書

Christian Activities of TOHOKU GAKUIN

第6号



私たちは皆、知識を持っている、ということは確かです。
しかし、知識は人を高ぶらせるのに対して、愛は人を造り上げます。
コリントの信徒への手紙一 8章1節

学 校 法 人 東 北 学 院
東 北 学 院 大 学
東 北 学 院 中 学 校 ・ 高 等 学 校
東 北 学 院 榴 ヶ 岡 高 等 学 校
東 北 学 院 幼 稚 園

東北学院宗教センター

東北学院寄附行為の改訂について

東北学院院長・学長（宗教センター長）

大西 晴樹



改正私立学校法により来年（2025年）度より寄附行為が改正される。新しい寄附行為は、理事会と評議員会が互いに牽制作用をもつことができるようにして、私立学校の経営の健全化を促すものである。

さて、この寄附行為の改定の際に、次第に現状から乖離している建学の精神、すなわち、キリスト教教育関連条項を見直した。まず、院長について。これまで院長は、設置学校に学長・校長がおりながら、設置学校の教育を総理すると漠然と規定されてきたが、設置学校のキリスト教教育を総理するように役割の明確化を図った。併せて、院長が設置学校のキリスト教教育を総理しやすいように、院長がセンター長となる宗教センター規程も変更された。

理事のキリスト者条項について。これまで過半数であったが、なかなか専門的知見や学識をもつキリスト者理事を得られないという現状に即して4分の1に縮小された。また評議員会のキリスト者条項も過半数から3分の1に縮小された。その代わり、キリスト者の役員が少数であることで、キリスト教教育が後退、もしくは変更されないように、寄附行為の目的の中に、キリスト教教育が「不変」であること、一人の理事の反対があれば、この目的条項を変更することができないことを明記した。理事や評議員のキリスト者が多数でなければキリスト教教育ができないという数の論理を振りかざせば、キリスト教教育に理解のある多くの非キリスト者の賛同を得ること、キリスト者が少数でしかない異教社会の日本において、キリスト教教育が好意をもって人々に受け入れられることは難しいのでないだろうか。

他に、各設置校の宗教主任が評議員会に加わる（大学3名、中高、榴ヶ岡各1名）ことで、宗教主任にも当事者意識を持ってもらい、キリスト教教育の実質化を図っていきたい。

これまで東北学院のような長老改革主義の伝統をもつキリスト教学校は、学長・校長をいわば長老とみなし、設置学校のキリスト教教育をそれぞれの学校に委ねてきた。この点で、カトリック、聖公会、メソヂストの「ビショップ」（司教・主教・監督）の下にキリスト教教育を組織的に遂行してきた他のキリスト教学校と異なる特徴をもつ。しかしながら、今般の東北学院寄附行為の改訂は、長老改革主義の伝統に立ちながら、院長に明確な役割を付与し、その院長の下に宗教センターを通じて各設置校が結びつくという新機軸を打ち出している。祈りをもって、今後の行方を見守りたい。

一 目 次

巻頭言

東北学院寄附行為の改訂について

東北学院院長・学長（宗教センター長）大西 晴樹…………… 1

2024年度 宗教活動報告

1) 法人事務局	
・活動報告……………	3
2) 宗教センター	
・活動報告……………	7
・東北学院大学 アメリカンフットボール部 祈祷会 東北学院宗教センター チャプレン 佐藤 由子……………	13
3) 大学	
・活動報告……………	15
・第68回教職員修養会報告……………	21
講師講演〈第1部〉『聖書に方向づけられたキリスト教教育』 学校法人関西学院 院長 中道 基夫……………	23
講師講演〈第2部〉『関西学院におけるキリスト教』 学校法人関西学院 院長 中道 基夫……………	30
閉会礼拝「東北学院の歴史の建築家」 東北学院大学 宗教部長 原田 浩司……………	35
・2024年度 宗教協議会開会礼拝説教「当事者意識の継承」 東北学院院長・学長（宗教センター長）大西 晴樹……………	38
・2024年度 東北学院大学卒業礼拝説教「LIFE LIGHT LOVE」 東北学院大学 宗教部長 原田 浩司……………	40
4) 中学校・高等学校	
・活動報告……………	43
・2024年度 東日本大震災追悼礼拝 東北学院中学校・高等学校 宗教主任 松井 浩樹……………	47
5) 榴ヶ岡高等学校	
・活動報告……………	49
・年間聖句「受けるよりは与えるほうが幸いである」（使徒言行録20章35節） 東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任 西間木 順……………	54
6) 幼稚園	
・活動報告……………	55
・クリスマス準備会 東北学院幼稚園 園長 島内久美子……………	59

2024年度

法人事務局 宗教活動報告

2024年度 法人事務局 宗教活動報告

1. 創立138周年記念式

(1) 創立記念式

日 時 2024年5月15日（水）9時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 会 齋藤信二法人事務局長
参加者 261名

(2) 校祖墓前礼拝

日 時 2024年5月15日（水）11時00分
場 所 北山キリスト教墓地
参加者 50名

2. 第23回東北学院ホームカミングデー記念式礼拝

日 時 2024年10月14日（月・祝）10時00分～11時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 原田浩司宗教部長
参加者 125名

3. 第75回公開東北学院クリスマス

日 時 2024年12月13日（金）18時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司 式 原田浩司宗教部長
説教者 日本基督教団 世田谷平安教会 江間紗綾香主任牧師
説教題 『光が世に来た』
参加者 407名

4. 東北学院職員クリスマス

(1) 礼 拝

日 時 2024年12月24日（火）17時30分
場 所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司式説教 原田浩司宗教部長
説教題 『荒野の果てに』
参加者 202名

5. 学校法人東北学院宗教協議会

(1) 第82回

日 時 2024年10月1日（火）14時30分
場 所 土樋キャンパス8号館第3・第4会議室

(2) 第83回

日 時 2025年3月14日（金）14時30分
場 所 土樋キャンパス8号館第3・第4会議室

◎キリスト教学校教育同盟関係

1. 東北・北海道地区協議会総会

日 時 2024年5月17日（金）14時30分～16時00分
場 所 オンライン開催
出席者 原田善教理事長、大西晴樹院長・学長（代表理事）、河本和文榴ヶ岡高等学校校長、原田浩司宗教部長、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任、工藤彩絵子庶務課係長（事務局）

2. 一般社団法人キリスト教学校教育同盟第112回定時総会

日 時 2024年6月7日（金）14時00分～8日（土）16時40分
場 所 神奈川県横浜市（関東学院）オンライン併用開催
参加者 対面参加：大西晴樹院長・学長、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任
オンライン参加：原田浩司宗教部長、工藤彩絵子庶務課係長（東北・北海道地区事務局）

3. 第68回事務職員夏期学校

日 時 2024年7月20日（土）15時00分～22日（月）12時30分
場 所 山梨県北杜市高根町清里（清泉寮）
参加者 齋藤佑樹、坂牛雄太、中田裕輔（実行委員）
※新採用職員研修として位置づけ

4. 第9回全国災害支援連絡会議

日 時 2024年8月7日（水）14時00分～8日（木）17時00分
※9日（金）オプション・ツアー
場 所 熊本県熊本市・益城町・西原村・阿蘇市・球磨町
（日本福音ルーテル教会 熊本教会、熊本地震・豪雨災害被災地）
参加者 水野麻美総務課課長補佐、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任（実行委員）

5. 東北・北海道地区教育研究集会大学部会

日 時 2024年8月22日（木）9時00分～16時10分
場 所 東北学院大学五橋キャンパスシュネーダー記念館6階第1会議室他
当番校 東北学院大学
参加者 原田善教理事長、大西晴樹院長・学長（地区代表理事）、紺野祐文学部長、宮川基法学部長、伊藤則之情報学部長、渡部友子国際学部長、原田浩司宗教部長（同盟教研全国委員）、川島堅二大学宗教主任、田島卓大学宗教主任、藤野雄大大学宗教主任

6. 第14回中堅事務職員リトリート

日 時 2024年8月22日（木）13時00分～23日（金）15時00分
場 所 京都府京都市（同志社大学今出川キャンパス）
参加者 菅原有紀中学校・高等学校事務室係長、森谷徹内部監査室長（実行委員）

7. 第10回全国事務局長・事務長会議

日 時 2024年9月6日（金）13時00分～7日（土）12時00分
場 所 京都府京都市（同志社大学今出川キャンパス）
参加者 伊藤寿隆法人事務局次長

8. 東北・北海道地区教育研究集会新任教師研修会

日 時 2024年9月11日（水）9時40分～15時50分
場 所 北海道江別市（酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校）
当番校 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
参加者 高橋祥亮榴ヶ岡高等学校常勤講師、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任（同盟教研全国委員）

9. 第4回キリスト教活動担当事務職員研修会

日 時 2024年9月11日（水）13時30分～12日（木）12時00分
場 所 福岡県福岡市（西南学院大学）
参加者 村田大総務課係長、多田夏海総務課員（実行委員）

10. 第9回本部・地区事務局担当学会議

日 時 2024年10月12日（土）13時00分～16時00分
場 所 東京都新宿区西早稲田（同盟事務局）Zoom によるオンライン併用開催
参加者 オンライン参加：工藤彩絵子庶務課係長、渡邊和樹庶務課員（事務局）

11. 東北・北海道地区教育研究集会中高部会

日 時 2024年10月17日（木）13時30分～18日（金）16時20分
場 所 青森県弘前市（弘前パークホテル及び東奥義塾高等学校）
当番校 東奥義塾高等学校
参加者 松井浩樹中学校・高等学校宗教主任、西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任
（教研委員）、稲垣実悟東北学院榴ヶ岡高等学校教諭

12. 第66回学校代表者協議会

日 時 2024年11月1日（金）14時40分～2日（土）16時30分
場 所 兵庫県神戸市（啓明学院）
参加者 対面参加：原田善教理事長、大西晴樹院長・学長
オンライン参加：帆足直治中学校・高等学校校長、河本和文榴ヶ岡高等学校校長

13. 教職員志願者ガイダンス

加盟校への同盟就職支援登録資料の紹介

14. 東北・北海道地区協議会常置委員会

日 時 2025年 3月21日（金）14時30分
場 所 オンライン開催
参加者 原田善教理事長、大西晴樹院長・学長、原田浩司宗教部長（教研全国委員）、
工藤彩絵子庶務課係長（事務局）、渡邊和樹庶務課員（事務局）

2024年度

東北学院宗教センター 宗教活動報告

2024年度 東北学院宗教センター 宗教活動報告

東北学院宗教センター チャプレン 佐藤 由子

2024年度も、多くの方々のお支えの中、水曜公開礼拝の開催と教職員聖歌隊の活動を継続することができました。特にお忙しい中、説教奉仕や音楽奉仕をお引き受けいただきました先生方には、心より感謝いたします。また設置学校の先生方をお迎えした礼拝におきましては、普段ご出席いただいている地域の方々や教職員に加え、設置学校卒業の在学生も出席する姿が見られ、大きな恵みのひとときとなりました。

TGCF（東北学院キリスト教フェローシップ）の活動は2年目となり、大学での活動が少しずつ学生主体で行うことができるようになりました。特に、コンテンポラリー賛美に必要であった音響機材等が整えられ、安定した賛美奉仕が行えるようになりました。また宗教部主催の特別伝道礼拝企画での賛美奉仕や五橋クリスマスでの賛美奉仕に出演させていただいたことは、学生の方々の貴重な経験となりました。English Café のイベントにおきましても、国際交流課とのハワイアンイベントの共催企画や、大学提携校のリーベンツェル大学母団体のドイツユースチームとのイベントなど、国際交流だけではなく、異文化についても学ぶ機会が与えられました。特に今年度は、English Café を支えて下さっている宣教師の方々が、幼稚園の異文化交流／英語活動の働きにも参加して下さいました。今後も国際交流、異文化交流のみならず、学校の垣根を超えた交流活動が行われ、園児、生徒、学生の未来につながる力となることを祈っています。

東北学院の各設置校との対面での祈祷会では、今年度も主の導きの中で、園児、生徒、学生の歩みの為に祈ることができました。宗教センターの第一の使命ともいうことができる祈りの時を、これからも大切に、各学校の歩みを覚えて祈ってまいります。

また「いのち ひかり あい」や「水曜通信」などの刊行物を通して、東北学院のキリスト教活動についての発信も行うことができ感謝でした。教職員の方々のみではなく、幼稚園のご父兄や生徒・学生の皆さんからの声もお届けすることができたのではないかと思います。今後も積極的にオール学院の歩みを伝えることができればと思っています。しかしながら、ブランディング事業から引き継ぎました「水曜通信」に関しては、その役割を終えることになり、2025年2月発行が最終号となっております。今後は、宗教センターのホームページを通して、東北学院のキリスト教活動を発信してまいります。また今年度の説教集は、東北学院のスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」より「あい」をテーマにした特集号です。ぜひお手にしていただければ幸いです。

皆様にご教授いただきながら、変わりゆく時代の中であって、宗教センターがなすべき使命を果たしていくことができればと願います。東北学院に受け継がれてきた信仰、建学の精神とその理念を大切に、今後も主の導きの中、豊かな活動を行うことができるように祈りつつ歩んでまいります。



第80回水曜公開礼拝【第1部 礼拝】
2025年2月19日（水）
説教：阿部頌栄（宗教センター主事）



第80回水曜公開礼拝【第2部 音楽による賛美】
オルガンとフルートによる演奏
オルガン演奏：渡辺真理（礼拝オルガニスト）
フルート演奏：櫻井 希（客演）



教職員聖歌隊練習
2025年1月15日（水）



宗教センター祈禱会（幼稚園）
2025年2月10日（月）



TGCF 新入生歓迎会
2024年5月2日（木）



TGCF Music Service
2024年7月4日（木）



TGCF 73lunch
2024年6月13日（木）



TGCF English Café
2024年11月7日（木）

1. 宗教センター構成員

所 長	大西晴樹（院長・学長）
センター主任（兼任）	原田浩司（大学宗教部長）
所 員 1	原田浩司（大学宗教部長）
所 員 2	松井浩樹（中学校・高等学校宗教主任）
所 員 3	西間木順（榴ヶ岡高等学校宗教主任）
所 員 4	島内久美子（幼稚園園長）
所 員 5	藤野雄大（大学宗教主任）
所 員 6	吉田 新（大学宗教主任）
センターチャプレン	佐藤由子（日本基督教団仙台南伝道所牧師）
センター主事	阿部頌栄（日本ナザレン教団仙台富沢教会牧師）
嘱託職員	大久保知美、引地素子

2. 宗教センター実務委員会（打合せ会：祈祷と報告／予定確認）

日 時：毎週月曜日 24回開催
場 所：宗教センター事務室別室（7号館3階）

3. 2024年度宗教センター委員会

	日 時	場 所	項 目
第1回	2024年6月5日(水) 15:30～16:16	宗教センター事務室別室 (Zoom 併用)	「2024年度宗教センター構成員について」他
第2回	2024年11月20日(水) 15:00～15:58	本館会議室 (Zoom 併用)	「2025年度宗教センター予算申請(案)について」他
第3回	2025年2月19日(水) 15:00～16:33	本館会議室 (Zoom 併用)	「2024年度活動報告と2025年度のスタッフ体制と活動予定」他

4. 2024年度宗教センター祈祷会（各校訪問・懇談）

①第1回

日 時	場 所	出席者
2024年6月17日(月) 15:00～16:00	東北学院榴ヶ岡高等学校	8名
2024年7月1日(月) 15:30～16:30	東北学院中学校・高等学校	9名
2024年7月9日(火) 15:15～16:15	東北学院幼稚園	11名

②第2回

日 時	場 所	出席者
2024年12月9日（月）16:00～17:00	東北学院榴ヶ岡高等学校	7名
2025年1月21日（火）15:00～16:00	東北学院中学校・高等学校	6名
2025年2月10日（月）15:15～16:15	東北学院幼稚園	11名

5. 東北学院宗教センター出版物

タイトル	内 容	発行日	部 数
宗教活動報告書 第5号	設置学校におけるキリスト教活動の全般にわたる年次報告書	6月24日	460部
宗教センター便り 「いのち ひかり あい」第8号	本院全体のキリスト教活動を包括する定期刊行物	9月10日	3,000部
宗教センター便り 「いのち ひかり あい」第9号	クリスマス特集号	12月9日	3,000部
水曜通信 第36号～第45号	巻頭言、礼拝要旨、その他	4月～2月 (8,3月休刊)	各850部
東北学院礼拝説教集 第5号	各学校での礼拝説教掲載	3月7日	3,800部
キリスト教活動のしおり	各学校のキリスト教活動案内	3月12日	6,000部

6. 水曜公開礼拝【添付資料1】

日 時：4月～2月の毎月第3水曜日 18時半～19時半

回 数：10回〔8月、3月は休会〕

内 容：第1部礼拝、第2部オルガン等による演奏

平均出席人数：51人

7. 教職員聖歌隊の活動

開 催 日：毎月第4水曜日 18時15分～19時15分 対面にて実施

実 施 日：4月24日、5月22日、7月24日、9月25日、10月23日、11月27日、
1月6日、2月26日

出席平均人数：約16人

主な練習曲目：讃美歌第2編 -152番

讃美歌21-37番、69番、108番、469番

「あなたの平和の」聖フランシスコの平和の祈り

水曜公開礼拝での合唱実施：6月19日（水）、1月15日（水）

8. TGCF（東北学院キリスト教フェローシップ）の活動

活動日：原則木曜日午後

活動内容	日 程	平均出席人数
新入生歓迎会	5月2日	17人
スプリング・カレッジ参加	4月11日	3人 (奉仕者)
English Café（国際交流）	4月25日、5月30日、6月27日、 7月25日、10月10日（Hawaii）、 11月7日（Germany）	43人
音楽礼拝（ミュージックサービス）	7月4日、9月26日	35人
特伝企画スペシャルミュージック サービス	10月9日	9人 (奉仕者)
第2回五橋クリスマス参加	12月6日	8人 (奉仕者)
ミーティング	4月11日、5月16日、5月28日、 6月13日、7月25日、9月24日、 12月12日、2月18日	7人
音楽礼拝練習／リハーサル	4月10日、4月11日、6月13日、 6月18日、6月20日、6月27日、 9月20日、9月24日、9月27日、 10月1日、10月8日、10月9日、 10月31日、11月28日、12月5日	5人
73ランチ	毎週木曜昼休み	10人
大学礼拝での音楽奉仕	6月20日、7月11日、10月3日、 10月7日、11月8日、	3人 (奉仕者)

9. 東日本大震災13年追悼祈祷会

日 時：2025年3月11日（火） 午後2時30分～午後2時50分まで

場 所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂（土樋）

10. ホームページの更新

活動案内と出版物の掲載など適宜掲載

11. SNS での情報発信

宗教センター公式インスタグラムと X（旧 Twitter）で、主に TGCF の活動について情報を発信。

2024年度水曜公開礼拝について

《礼拝開催日及び担当者一覧》〔4月～2月（※8月、3月は除く）〕

【第1部 礼拝】

回	開催日時	説教者	奏楽者	讃美歌	聖書	頌栄	参加人数
71	4月17日	佐藤 由子	椎名雄一郎	第2編-55番 第2編-163番	ヨハネによる福音書 16章23-28節	543番	43人
72	5月15日	原田 浩司	小野なおみ	39番 399番	ヨブ記 30章24-31節	541番	58人
73	6月19日	大西 晴樹	今井奈緒子	405番 320番	ローマの信徒への手紙 14章18節 コリントの信徒への手紙一 15章32節	541番	95人
74	7月17日	大門 耕平	渡辺 真理	452番 453番	マタイによる福音書 26章47-52節	542番	36人
75	9月18日	藤野 雄大	山司恵莉子	7番 501番	マタイによる福音書 13章44-46節	540番	47人
76	10月16日	田島 卓	椎名雄一郎	34番 85番	申命記 7章6-8節	543番	40人
77	11月20日	成 智圭	小野なおみ	243番 271番	ヨハネによる福音書 21章15-19節	541番	47人
78	12月18日	川島 堅二	今井奈緒子	285番 312番	マタイによる福音書 28章16-20節	544番	45人
79	1月15日	西間木 順	菅原 淑子	39番 121番	ヨハネによる福音書 8章31-38節	539番	48人
80	2月19日	阿部 頌栄	渡辺 真理	讃21-222番 讃21-459番	ルカによる福音書 7章36-50節	讃21-25番	43人

【第2部 音楽による賛美】

回	演奏者	
71	椎名雄一郎	オルガン独奏
72	小野なおみ	オルガン独奏・伴奏
	中川郁太郎 (特任准教授) 平 琉之介 (宗教部聖歌隊4年生)	二重唱
73 ※	今井奈緒子	オルガン独奏
	椎名雄一郎	オルガン独奏
	中川郁太郎 (特任准教授) 教職員聖歌隊	独唱・合唱

回	演奏者	
74	渡辺 真理	オルガン独奏
75	山司恵莉子	オルガン独奏
76	椎名雄一郎	オルガン独奏
77	小野なおみ	オルガン独奏
78	今井奈緒子	オルガン独奏
79	菅原 淑子	オルガン独奏
	教職員聖歌隊	合唱
80	渡辺 真理	オルガン独奏・伴奏
	櫻井 希	フルート演奏

※第73回の第2部は鐸木道剛先生追悼音楽会

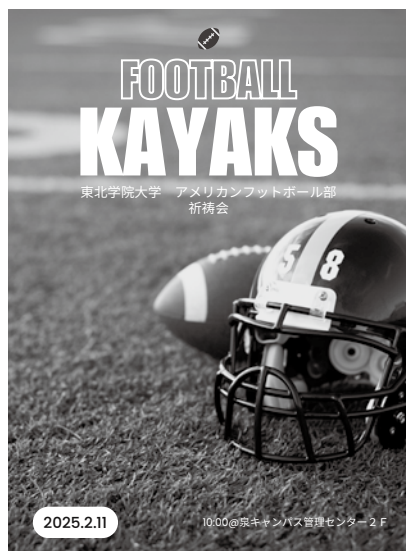
東北学院大学 アメリカンフットボール部 祈禱会

東北学院宗教センター チャプレン 佐藤 由子

2024年度は、新しい宗教センターの働きとして、アメリカンフットボール部での祈禱会が行われました。この祈禱会は、アメリカンフットボール部が2025年に創部50周年を迎えるにあたり、「キリスト教大学としての原点に立ち返り、スクールモットーである『LIFE LIGHT LOVE』をチームの中心において活動すべきではないか」との方針と、監督より宗教センターに祈禱会のご依頼をいただいたことにより実現しました。

この祈禱会は、大学礼拝の簡易版をイメージした10分程度の短い会ではありますが、学生一人一人が聖書の言葉から、部活動や自らの生き方の力になるヒントを受け取ることができるようにと祈りつつ行っています。

ぜひこのアメリカンフットボール部での新たな試みが他の活動団体にも広がり、東北学院に繋がる方々が3L精神を確固たるものとし、変動する時代の中で、揺り動かされることなく、東北そして世界を変える働きを共に担っていくことができればと心から祈り願います。



祈禱会聖句 1

「あなたがたは、それぞれ賜物を授かっているのだから、
神のさまざまな恵みの善い管理者として、
その賜物を用いて互いに仕えなさい。」

祈禱会プログラム

・黙祷

・聖書 ペテロの手紙一 4章8節～10節

「何よりもまず、互いに心から愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。不平を言わずにもてなし合いなさい。あなたがたは、それぞれ賜物を授かっているのだから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を用いて互いに仕えなさい。」

・奨励 「L I F E」

- ① 創 1:1 「初めに神は天と地を創造された。」
創 1:31 「神は、造ったすべてのものを御覧になった。それは極めて良かった。」
- ② 賜物 χάρισμα (カリスマ)
As each one has received a gift (ギフト)
- ③ 1 コリ 12:26 「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」

・黙祷

2024年度

東北学院大学 宗教活動報告

2024年度 東北学院大学 宗教活動報告

東北学院大学 宗教部長 原田 浩司

2024年度は、コロナ禍による「自粛」や「規制」の呪縛から完全に解放され、大学におけるキリスト教活動が回復された年となった。例えば、コロナ禍の期間においては学内で粛々と継続されたサマーカレッジが、24年度はしばらくぶりに学外で開催できた。特に元日に起きた能登半島地震による被害からの復興のさ中であつたため、「震災とキリスト教」をテーマに、東日本大震災の甚大な被災地の一つである関上（名取市）を会場の候補とし、オープンしたばかりの「陣中 FACTORY GARDEN」で開催することができた。また教職員修養会もこれまでの学外会場を仙台ロイヤルパークホテルに変え、はじめての会場のため、気分を新たに開催することができた。

他方で、五橋キャンパスの開業から二年目を迎えた24年度は、大学礼拝時間が多くの学生や教職が五橋・土樋両キャンパス間を移動する時間として利用されていることもあり、大学礼拝への出席状況がコロナ禍前の水準には回復していない現状も課題として浮き彫りとなった。以下に、大学宗教部が一年間に取り組んだ活動を整理し、報告する。



第49回サマーカレッジ
2024年8月9日（金）
「かの地に蒔かれ、かの地で守り」
荒井偉作牧師（日本基督教団 名取教会）



秋季特別伝道礼拝
2024年10月9日（水）
「愛を受け取ろう」
長沢崇史牧師（カナン・ブレイズ・チャーチ）



クリスマスツリー点灯式
2024年12月6日（金）
五橋キャンパス



大学クリスマス
2024年12月12日（木）
「光は今も輝いている」
高田恵嗣先生（北陸学院高等学校宗教部長）

1. 教員組織

宗教部長	原田浩司
書 記	藤野雄大
土樋キャンパス担当	大門耕平、川島堅二、吉田 新、渡邊有美
五橋キャンパス担当	椎名雄一郎、田島 卓、藤野雄大、渡邊蘭子
大学オルガニスト	今井奈緒子
総合人文学科長	木村純二
キリスト教文化研究所所長	吉田 新

2. 礼拝オルガニスト（五十音順、敬称略）

石田牧子、今高和枝、大泉真理、小野なおみ、菅原淑子、山司恵莉子、渡辺真理

3. 大学礼拝

(1) 出席者数（学生のみ。特別伝道礼拝等を含む）

キャンパス（回数）	土樋（150回）	五橋（150回）	合計（300回）
出席者数	10,409名	13,932名	24,341名
前年度	4,655名	19,821名	24,476名
前年比	+5,754名	-5,889名	-135名

(2) 担当者内訳

学内教職員171回、学外牧師等129回 合計300回

4. 聖書研究会

土樋キャンパス	大門 耕平	新しいキリスト教教育を考え、体験しよう
	川島 堅二	聖書を読む
	椎名雄一郎	キリスト教音楽を学ぶ
	原田 浩司	TGのプロテスタントの教えの特徴を知る
	吉田 新	ギリシア語聖書を読む
五橋キャンパス	渡邊 有美	英語で聖書、またはキリスト教関連の本を読む
	木村 純二	聖書の学びと祈りの時間
	田島 卓	原語で読む旧約聖書
	藤野 雄大	東北学院とキリスト教
	渡邊 蘭子	ビジュアルで学ぶ聖書

5. 宗教部会

開催日：4月25日、5月30日、6月27日、7月25日、9月26日、10月24日、11月21日、
1月23日、2月21日

6. 大学宗教主任会

開催日：4月2日、1月23日

7. 宗教部自己点検評価会

(1) 第1回（前期）

日 時：2024年8月29日（木）～9月5日（木）（メール審議）

(2) 第2回（後期）

日 時：2025年2月21日（金）

8. 第29回スプリング・カレッジ

日 時：2024年4月11日（木）10時00分～13時00分

場 所：土樋キャンパス ラーハウザー記念東北学院礼拝堂 他

参加者：学生19名、教職員13名 合計32名

9. 春季宗教教育強調週間特別伝道礼拝

(1) 五橋キャンパス

日 時：2024年5月8日（水）10時5分～10時55分 出席者444名

説教者：田辺由紀夫牧師（日本基督教団大曲教会）

(2) 土樋キャンパス

日 時：2024年5月9日（木）10時5分～10時55分 出席者211名

説教者：同上

10. キリスト者等推薦学生懇談会（前期）

日 時：2024年7月4日（木）12時25分～13時5分

場 所：土樋キャンパスホーイ記念館（2階）会議室

参加者：学生20名、教職員10名 合計30名

11. 宗教部研修会

日 時：2024年7月25日（木）16時00分～18時00分

場 所：土樋キャンパスホーイ記念館（2階）会議室

テーマ：「大学礼拝に関するデータ検証及び出席者の増加策について」

発題者：齋藤 渉氏（高等教育開発室副室長）

参加者：教職員14名

12. 第49回サマー・カレッジ

日 時：2024年8月9日（金）9時00分～17時00分

場 所：陣中閑上ファクトリーガーデン 他

主 題：「キリスト教と震災」

講 師：荒井偉作牧師（日本基督教団名取教会）

参加者：学生22名（推薦学生15名、一般学生7名）、教職員12名 合計34名

13. 第68回教職員修養会

日 時：2024年9月10日（火）9時00分～17時00分

場 所：仙台ロイヤルパークホテル

主 題：「聖書に聴く」

講 師：中道基夫氏（学校法人関西学院院長）

参加者：教職員約120名

14. 秋季宗教教育強調週間特別伝道礼拝

（1）五橋キャンパス

日 時：2024年10月9日（水）10時5分～10時55分 出席者416名

説教者：長沢崇史牧師（カナン・ブレイズ・チャーチ）

（2）土樋キャンパス

日 時：2024年10月10日（木）10時5分～10時55分 出席者257名

説教者：同上

15. 秋季宗教教育強調週間特別伝道礼拝企画 スペシャル・ミュージック・サービス

日 時：2024年10月9日（水）17時30分～19時30分 出席者約200名

会 場：五橋キャンパス 押川記念ホール

出 演：長沢崇史牧師（カナン・ブレイズ・チャーチ）、TGCF

16. キリスト者等推薦学生懇談会（後期）

日 時：2024年12月3日（火）12時25分～13時5分

場 所：土樋キャンパスホーイ記念館（2階）会議室

参加者：学生17名、教職員10名 合計27名

17. 第2回五橋クリスマス

日 時：2024年12月6日（金）18時20分～20時20分

参加者：約750名

18. 大学クリスマス礼拝（2025年度から五橋クリスマスに統合予定）

(1) 土樋キャンパス

日 時：2024年12月12日（木）10時5分～10時55分 出席者204名

説教者：高田恵嗣氏（北陸学院高等学校宗教部長）

(2) 五橋キャンパス

日 時：2024年12月12日（木）15時00分～16時00分 出席者143名

説教者：同上

19. 第29回キリスト者教員研修会

日 時：2025年1月28日（火）14時00分～16時00分

参加者：教職員17名

20. 礼拝司会者・オルガニスト懇談会

日 時：2025年2月21日（金）11時30分～13時30分

場 所：カフェ&レストラン メーナ

参加者：外部牧師・オルガニスト19名、教職員18名 合計37名

21. 学長招待卒業生懇談会

日 時：2025年2月26日（水）12時00分～13時00分

22. 卒業記念礼拝

日 時：2025年3月19日（水）

説教題：「LIFE LIGHT LOVE」

説教者：宗教部長

23. 宗教部印刷物関係

『チャペル・ニュース151号』 入学・進級号（4月）

24. 開催無し

礼拝奉仕者懇談会、青山学院大学・東北学院大学合同チャプレン代表者会

25. その他諸会議

パイプオルガン委員会、礼拝堂委員会

過去の礼拝出席数

	2024			2023								
キャンパス	総数	回数	平均	総数	回数	平均						
土樋	10,409	150	69	4,655	150	31						
五橋	13,932	150	93	19,821	150	132						
総計	24,341	300	81	24,476	300	82						
	2022 (コロナ禍)			2021 (コロナ禍)			2020 (コロナ禍)			2019		
キャンパス	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋	2,850	123	23	403	23	18	219	15	15	10,047	180	56
多賀城	4,160	123	34	391	23	17	102	15	7	18,993	180	106
泉	7,011	123	57	459	23	20	142	15	9	52,302	179	292
総計	14,021	369	38	1,253	69	18	463	45	10	81,342	539	151
	2018			2017			2016			2015		
キャンパス	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	16,972	181	94	20,286	181	112	15,156	180	84	18,285	181	101
多賀城	24,252	181	134	24,679	180	137	17,094	180	95	34,784	181	192
泉	65,504	181	362	59,050	181	326	53,352	180	296	73,112	181	404
土樋夜	0	0	0	0	0	0	835	32	26	820	32	26
総計	106,728	543	197	104,015	542	192	86,437	572	151	127,001	575	221
	2014			2013			2012			2011		
キャンパス	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	17,033	180	95	13,517	181	75	26,593	181	147	23,034	168	137
多賀城	39,514	178	222	31,548	181	174	40,629	181	224	39,463	166	238
泉	67,264	180	374	53,489	181	296	61,040	181	337	57,805	168	344
土樋夜	1,147	33	35	1,328	34	39	1,561	31	50	1,484	28	53
総計	124,958	571	219	99,882	577	173	129,823	574	226	121,786	530	230
	2010			2009			2008			2007		
キャンパス	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	15,540	180	86	5,400	153	35	10,718	156	69	11,527	168	69
多賀城	24,007	182	132	39,723	160	248	35,769	162	221	42,028	177	237
泉	63,104	180	351	45,755	154	297	41,359	157	263	52,933	156	339
土樋夜	2,091	32	65	1,301	26	50	3,594	28	128	3,985	30	133
総計	104,742	574	182	92,179	493	187	91,440	503	182	110,473	531	208
	2006			2005			2004			2003		
キャンパス	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均	総数	回数	平均
土樋朝	5,481	164	33	6,911	166	42	10,003	165	61	11,148	158	71
多賀城	36,153	177	204	38,495	179	215	39,093	178	220	32,776	172	191
泉	55,303	165	335	62,951	167	377	66,259	165	402	65,973	159	415
土樋夜	4,337	30	145	4,059	28	145	6,655	28	238	6,923	30	231
総計	101,274	536	189	112,416	540	208	122,010	536	228	116,820	519	225

2024年度 第68回東北学院大学教職員修養会 報告

【第68回東北学院大学教職員修養会プログラム】

日 時：2024年9月10日（火）

会 場：仙台ロイヤルパークホテル（2階）ロイヤルホール EAST

主 題：『聖書に聴く』

講師 中道基夫先生（学校法人関西学院 院長）

- 9:00 土樋キャンパスから送迎バス出発
- 9:50 開会礼拝 説教：大西晴樹先生
奏楽：今井奈緒子先生
- 10:10 学長挨拶
理事長挨拶
講師紹介
- 10:25 講師講演 <第1部>『聖書に方向づけられたキリスト教教育』
- 11:25 事務連絡
- 11:30 昼食（会場：ロビーフロア ロイヤルホール WEST）
- 13:00 講師講演 <第2部>『関西学院におけるキリスト教』
（終了後、グループ懇談会場へ移動）
- 14:00 グループ懇談 『講師講演をめぐって』（会場：ガーデンフロア 各会場）
（終了後、2階ロイヤルホール EAST へ移動）
- 15:30 全体協議・報告会
- 16:30 閉会礼拝 説教：原田浩司先生
奏楽：今井奈緒子先生
- 16:45 閉会挨拶
- 17:20 ホテルから送迎バス出発

講師略歴

中道 基夫（なかみち もとお）

学校法人関西学院 院長

1960年生まれ

学 歴

- 1982年3月 関西学院大学神学部卒業
- 1984年3月 関西学院大学大学院神学研究科修士課程修了
- 1999年4月 ドイツ・ハイデルベルク大学神学部留学（2000年3月まで）
- 2011年2月 ドイツ・ハイデルベルク大学神学部にて神学博士号取得

職 歴

- 1984年4月 日本基督教団神戸栄光教会担任教師（1997年3月まで）
- 1987年4月 日本基督教団城之橋教会主任担任教師、城之橋幼稚園園長（1993年3月まで）
- 1993年4月 ドイツ・ヴュルテンベルク州教会宣教協力牧師（1999年3月まで）
- 2000年4月 関西学院大学神学部助手
- 2001年4月 関西学院大学神学部専任講師
- 2004年4月 関西学院大学神学部助教授・准教授
- 2008年4月 関西学院大学大学院神学研究科博士課程前期課程指導准教授
- 2012年4月 関西学院大学神学部教授
- 2016年4月 関西学院大学大学院神学研究科博士課程後期課程指導教授（現在に至る）
- 2017年4月 関西学院大学神学部学部長（2021年3月まで）
- 2022年4月 関西学院院長（現在に至る）

『聖書に方向づけられたキリスト教教育』

関西学院 院長 中道 基夫

1. 聖書に戻ろう！

(ア) 聖書をどう読むのか？

- ① 愛と奉仕の精神を読む
- ② 自分の中にある価値観に基づいて読む。
- ③ 聖句主義 自分の好きな聖句

(イ) 聖書全体を読む

2. マタイによる福音書1章

1 節 アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。

17節 こうして、全部合わせると、

アブラハムからダビデまで十四代、

ダビデからバビロンへの移住まで十四代、

バビロンへ移されてからキリストまでが十四代である。

5. ここで問題です！ イエス・キリスト誕生後

- ・神様が示す地、永久の所有地、自分たちの国とはどこですか？
- ・エジプトからの解放 → イスラエル統一王国 → エルサレム帰還 → 外国の支配からの解放→神の国（≠死後の世界）
- ・誰がそれを実現しますか？
- ・アブラハム → モーセ → ダビデ → 救い主 → イエス・キリスト
- ・それはいつですか？
- ・近づいた
- ・それを受け継ぐのは誰ですか？
- ・アブラハムの子孫 → 割礼・十戒 → 12 部族 → 純血・律法・安息日 → イエス・キリストを信じる者

6. 聖書のメッセージとは

(ア) 聖書は墮罪物語 = 裁きからではなく、祝福「よし」から始まっている。

(イ) 救いとは神の祝福の「よし」の回復

(ウ) この「よし」を傷つけ、損なうものがある。

(エ) 聖書の中では

① 罪、奴隷状態、捕囚、放浪、支配、病気、死、サタン・悪霊

(オ) 救いとは、赦し、解放、自由、神殿、癒し、復活、神の国

7. キリスト教学校の聖書に方向づけられたミッションとはなんですか？

2024年度 東北学院大学教職課程学会

聖書に方向づけられたキリスト教教育

関西学院 院長・関西学院神学部 中道基夫

聖書をどう読むのか？

- ・愛と奉仕の精神を読む
- ・自分の中にある価値観に基づいて読む。



「あなたがたの中に、百匹の羊を持っていく人がある。その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、見失った一匹を見つけ出すまで探し回らないだろうか。そして、見つけたら、喜んでその羊を担いで、家に帰り、友達や近所の人々を呼び集めて、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』と言うであらう。ルカ15:4-6

- ・聖句主義 自分の好きな聖句
- ・聖書全体を読む

マタイによる福音書1章

1節：アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。

17節：こうして、全部合わせると、

アブラハムからダビデまで十四代、

ダビデからバビロンへの移住まで十四代、

バビロンへ移されてからキリストまでが十四代である。

じゃ、アブラハムから聖書を読んでみましょう。

創世記12章1-3

主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷の家を離れてわたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める、祝福の源となるように。あなたを祝福する人をわたしは祝福し、あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る。」

創世記15章5-6

主は彼を外に連れ出して言われた。「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみるがよい。」そして言われた。「あなたの子孫はこうになる。」アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

それで、妻サラに子どもができないので、妻の女奴隷に子どもを生ませてしまいました。99才になっても、アブラハムは子どもができないままです。

創世記17章4-8節

これがあなたと括弧わたしの契約である。あなたは多くの国民の父となる。あなたは、もはやアブラムではなく、アブラハムと名乗りなさい。あなたは多くの国民の父とするからである。わたしは、あなたをますます繁栄させ、諸国民の父とする。王となる者たちがあなたから出るであらう。わたしは、あなたとの間に、また後に続く子孫との間に契約を立て、それを永遠の契約とする。そして、あなたとあなたの子孫の神となる。わたしは、あなたが滞在しているこのカナンすべての土地を、あなたとその子孫に、永久の所有地として与える。わたしは彼らの神となる。

創世記17章10節

あなたたち、およびあなたの後に続く子孫と、わたしとの間で守るべき契約はこれである。すなわち、あなたたちの男子はすべて、割礼を受ける。

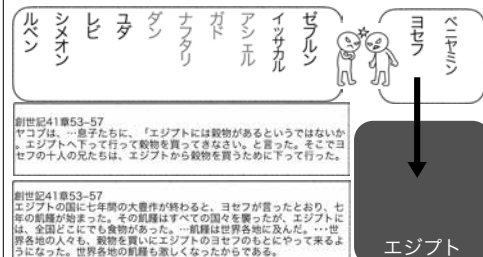
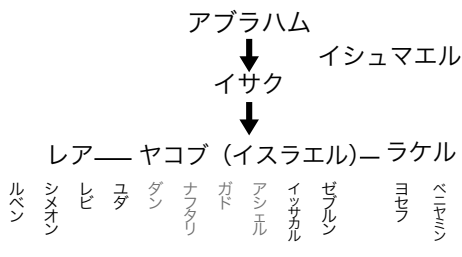
ここで問題です！

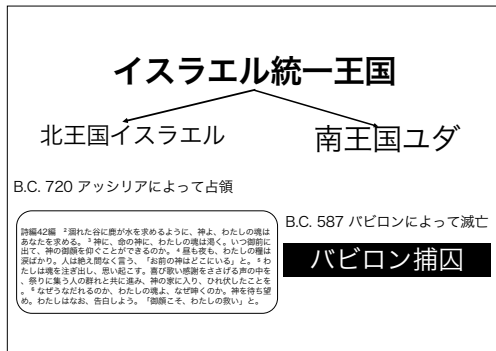
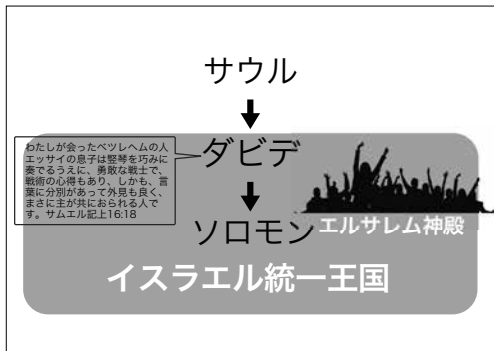
・神様が示す地、永久の所有地、自分たちの国とはどこですか？

・それはいつですか？

・それを受け継ぐ子孫とは誰ですか？

創世記17：12 あなたたちの男子はすべて、直系の子孫はもちろんのこと、家で生まれた奴隷も、外国人から買い取った奴隷でああなたの子孫でない者も皆、生まれてから八日目に割礼を受けなければならない。





バビロン捕囚

誰がこの状態から救ってくれるのか？

メシヤ（救い主）待望

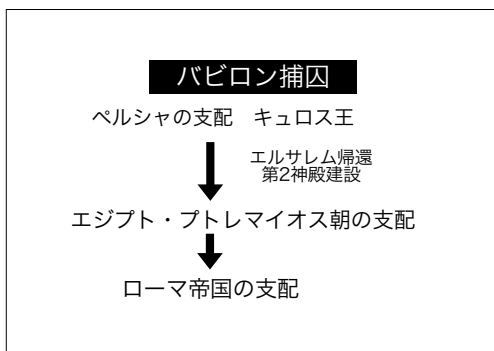
イザヤ書11:1 エッサイの株からひとつの芽が萌えてイシの枝からひとつの若枝が育ち、その上に主の宮がとどまる。

どんな救い主を求めるのか？

モーセよ、や、行きなさい。わたしはあなたをファラオのもと遣わす。わが民、イスラエルの人々をエジプトから連れ出すのだ。出エジプト記3:10

あなたは主の民をエジプトから、一途と海の流れる土地へ導き上らうと決心した。3:17

聖者を巧みに美でるうに、勇敢な戦士で、戦術の心得もあり、しかも、言葉に分別があって外見もよく、まさか主が共におられる人です。サムエル記上16:18



ここで問題です！ バビロン捕囚後

- ・神様が示す地、永久の所有地、自分たちの国とはどこですか？
- ・イスラエル王国の再興 外国の支配からの解放
- ・それはいつですか？
- ・救い主の到来
- ・それを受け継ぐアブラハムの子孫とは誰ですか？
- ・純血主義
- ・律法を守るもの

イエス・キリスト（油塗られた者=救い主）の誕生

アブラハム

↓

ダビデ

↓

バビロン捕囚

↓

イエス・キリスト

あなたはどんな救い主を期待しますか？

どんな救い主を求めるのか？

モーセよ、や、行きなさい。わたしはあなたをファラオのもと遣わす。わが民、イスラエルの人々をエジプトから連れ出すのだ。出エジプト記3:10

あなたは主の民をエジプトから、一途と海の流れる土地へ導き上らうと決心した。3:17

聖者を巧みに美でるうに、勇敢な戦士で、戦術の心得もあり、しかも、言葉に分別があって外見もよく、まさか主が共におられる人です。サムエル記上16:18

イザヤ書33:14 「わたしたちの聞いたことを、誰が信じようか。主は御腕の力を誰に示されたことがあろうか。」「涸れた谷に鹿が水を求めるように、この人は主の前に育った。見るべき御影はなく、輝かしい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、神を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し、わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が抱いたのはわたしたちの病、彼が抱えたのはわたしたちの痛みであったのに、わたしたちは思っていた。神の手にかかり、打たれたから彼は苦しんでいるのだ、と。」

マタイによる福音書1章

1節：アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。

17節：こうして、全部合わせると、

アブラハムからダビデまで十四代、

ダビデからバビロンへの移住まで十四代、

バビロンへ移されてからキリストまでが十四代である。

ここで問題です！ イエス・キリスト誕生後

- ・神様が示す地、永久の所有地、自分たちの国とはどこですか？
- ・エジプトからの解放 → イスラエル統一王国 → エルサレム帰還 → 外国の支配からの解放→神の国（≠死後の世界）
- ・誰がそれを実現しますか？
- ・アブラハム → モーセ → ダビデ → 救い主 → イエス・キリスト
- ・それはいつですか？
- ・近づいた
- ・それを受け継ぐのは誰ですか？
- ・アブラハムの子孫 → 割礼・十戒 → 12部族
→ 純血・律法・安息日 → イエス・キリストを信じる者

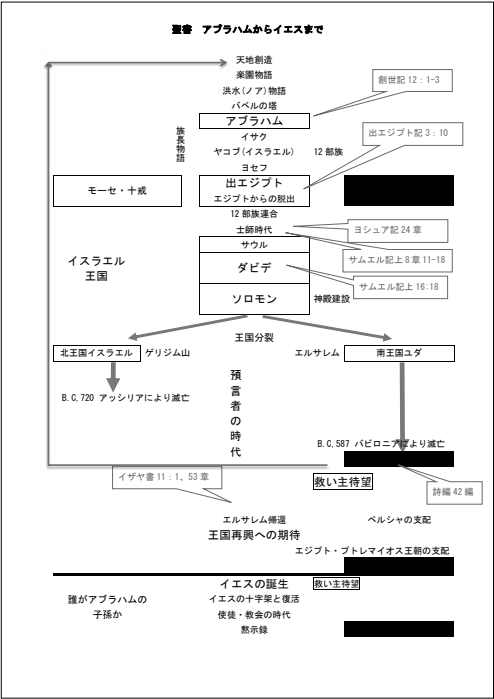


聖書全体のメッセージとは何でしょうか。

- ・聖書は墮罪物語=裁きからではなく、祝福「よし」から始まっている。
- ・救いとは神の祝福の「よし」の回復
- ・この「よし」を傷つけ、損なうものがある。
- ・聖書の中では
 - ・罪、奴隷状態、捕囚、放浪、支配、病氣、死、サタン・悪霊
- ・救いとは、赦し、解放、自由、神殿、癒し、復活、神の国

キリスト教学校の
聖書に方向づけられた
ミッションとはなんですか？

解放と居場所



聖書 アブラハムからイエスまで

1	マタイ 1章 1節 アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図
2	マタイ 1章 17節 こうして、全部合わせる、アブラハムからダビデまで十四代、ダビデからバビロンへの移住まで十四代、バビロンへ移されてからキリストまで十四代である
3	創世記 12章 1-3節 主はアブラムに言われた、「あなたは生まれ故郷／父の家を離れて／わたしがお示す地に行きなさい。 2 わたしはあなたを大いなる国民にし／あなたを祝福し、あなたの名を高める／祝福の源となるように。 3 あなたを祝福する人をわたしは祝福し／あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の民族はすべて／あなたによって祝福に入る。」
4	創世記 15章 5-6節 主は帳を外に連れ出して言われた。「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみるがよい。」そして言われた、「あなたの子孫はこのようになる。」アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。
5	創世記 17章 4-8節 これはあなたがと結ぶわたしの契約である。あなたは多くの国民の父となる。あなたは、もはやアブラムではなく、アブラハムと名乗るべき。あなたを多くの国民の父とするからである。わたしは、あなたをますます繁栄させ、諸国民の父とする。王となる者たちがあなたから出るであろう。わたしは、あなたとの間に、また後に続く子孫との間に契約を立て、それを永遠の契約とする。そして、あなたとあなたの子孫の神となる。わたしは、あなたが滞在しているこのカナンのすべての土地を、あなたとその子孫に、永久の所有地として与える。わたしは彼らの神となる。
6	創世記 17章 10節 あなたたち、およびあなたの子孫に、わたしとの間で守るべき契約はこれである。すなわち、あなたたちの男子はすべて、割礼を受ける。
7	創世記 41章 53-57節 ヤコブは、一息子たちに、「エジプトには穀物があるというではないか。エジプトへ下って行って穀物を買ってきたさい。」と言った。そこでヨセフの十人の兄弟たちは、エジプトから穀物を買うために下って行った。
8	創世記 41章 53-57節 エジプトの国に七年間の大豊作が終わると、ヨセフが言ったとおり、七年の飢饉が始まった。その飢饉はすべての国々を襲ったが、エジプトには、全国どこにも食物があった。一飢饉は世界各地に及んだ。…世界各地の人々も、穀物を買いにエジプトのヨセフのもとにやって来るようになった。世界各地の飢饉も激しくなったからである。
9	出エジプト記 3:10 モーセよ、今、行きなさい。わたしはあなたをファラオのもとに遣わす。わが民イスラエルの人々をエジプトから連れ出そうのだ。 3:17 あなたたちを害しみのエジプトから、…乳と蜜の流れる土地へ導き上ろうと決心した。
10	出エジプト記 34章 27節 主はモーセに言われた、「これらの言葉を書き記しなさい。わたしは、これらの言葉に基づいてあなたと、またイスラエルと契約を結ぶ。」
11	ヨシュア記 24章 あなたたちの先祖が川の向こう側やエジプトで仕えていた神々を除き去って、主に仕えなさい。もし主に仕えたくないというならば、川の向こう側にいたあなたたちの先祖が仕えていた神々でも、あるいは今、あなたたちが住んでいる土地のアモリ人の神々でも、仕えたいと思うものを、今日、自分で選びなさい。ただし、わたしとわたしの家は主に仕えます。」 民は答えた、「…わたしたちの神、主は、わたしたちとわたした

聖書 アブラハムからイエスまで

12	サムエル記上 8章 11-18節 「王は、…あなたたちの息子を採用する。また、あなたたちの娘を徴用し、香料作り、料理女、パン焼き女にする。あなたたちの最上の畑、ぶどう畑、オリーブ畑を没収し、家臣に分け与える。また、あなたたちの羊の十分の一を徴収する。こうして、あなたたちは王の奴隷となる。」
13	サムエル記上 10章 18節 わたしがおったベツレヘムのエッサイの息子は聖賢を好み、賢く、勇気ある戦士で、戦術の心得もあり、しかも、言葉に分別があって外見も良く、まさに王が共におられる人です。
14	詩篇 42篇 「置れた谷に乾が水を求めるように、神よ、わたしの魂はあなたを求める。」 「神に、命の神に、わたしの魂は置れ。いつ御前に出て、神の御殿を仰ぐことができるのか。 「昼も夜も、わたしの魂は置れ。人は絶え間なく言う、「お前の神はどこにいるのか。 「わたしは魂を注ぎ出し、思い起こす。喜び歌い感謝をさげる声の中を、祭りに集う人の群れと共に進み、神の家に入り、ひれ伏したことを。」 「なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。わたしはなお、告白しよう。「御顔こそ、わたしの救い」と。」
15	イザヤ書 11章 1-2節 エッサイの根からひとつの芽が萌えて、その根からひとつの君枝が育ち、その上に主の座がとどまる。
16	イザヤ書 53章 1節 わたしたちの聞いたことを、誰が信じようか。主は御腕の力を誰に示されたことがあろうか。乾いた地に埋もれた根から生え出た君枝のように、この人は主の前に育った。見るべき面影はなく、輝かしい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し、わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が振ったのはわたしたちの病、彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに、わたしたちは思っていた。神の手にかかろう、打たれたから彼は苦しんでいるのだ、と。
17	ルカ 2章 11節 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。
18	使徒行伝 15章 8節 ところが、ファリサイ派から信者になった人が数を立てて、「異邦人にも割礼を受けさせて、モーセの律法を守るように命じらるべきだ」と言った。
19	使徒行伝 15章 20節 聖霊とわたしたちは、次の必要な事柄以外、一切あなたがたに重荷を負わせないことに決めました。すなわち、偶像に献げられたものと、血と、絞め殺した動物の肉と、みだらな行いとを避けることです。以上を慎めばよいのです。健康を害りません。」
20	黙示録 7章 4節 わたしは、刻印を押された人々の数を知った。それは十四万四千人で、イスラエルの千らの全部族の中から、刻印を押されていた。ユダ族の中から一万二千人が刻印を押され、ルベン族の中から一万二千人、ガド族の中から一万二千人…

『関西学院におけるキリスト教』

関西学院 院長 中道 基夫

はじめに

➤ 一つのショックな質問

☆ あなたたちキリスト教のミッションは何ですか？

1. 医療宣教から教育宣教へ

(ア) 関西学院創始者 W.R. ランバス

- ①1854年 アメリカ南メソヂスト監督教会中国伝道の宣教師の長男として上海で誕生。
- ②1875年 エモリー・アンド・ヘンリー大学卒業
- ③1877年 ヴァンダビルト大学で医学と神学を修めたウォルターは、新婚間もない妻デイジーを連れて中国に戻り、上海郊外に麻薬中毒療養所を開設した。
- ④1881年 ベルビュー大学病院（ニューヨーク）で東洋の疾患を研究。ロンドン大学、エディンバラ大学で最新の医学研究に従事。
- ⑤1882年 蘇州病院を開設。
- ⑥1884年 北京にメソヂスト病院を開設。
- ⑦1886年、南メソヂスト監督教会日本宣教部設立に伴い、ランバス一家は30年以上におよぶ中国での生活に別れを告げ来日。
- ⑧1889年 関西学院を設立。



(イ) なぜ日本で医療伝道を行わなかったのか？

2. 世界宣教と教育

(ア) 伝道手段としての教育……学校は、その国の子供や若者たちにキリスト教の教えや価値観に親しむ機会を提供した。教育を通じて、宣教師たちは自分たちの宗教的なメッセージをより効果的に伝えることができた。

(イ) 地元の指導者の育成……学校教育により、地元のキリスト教徒が教師、説教者、地域社会の指導者として育成されることが可能となり、それは宣教活動の長期的な持続可能性にとって重要であった。



- (ウ) 文化の理解……宣教師たちは現地の言語や文化を理解する必要性を認識していた。学校は、この文化交流と言語研究の場として機能した。
- (エ) 社会発展と自助……宣教師たちは現地の人々を理解し、彼らが自分自身を助けるのを支援したいと考えていた。教育は現地の社会をより良いものに変え、人々が社会経済的な状況を改善する力を与える手段であると考えられていた。

3. 宣教の1つの手段としての教育

- (ア) 医療か、教育かということが重要なのではなく、それはある意味どちらでもよかったのではないのかと言える。
- (イ) その求めるところは、なんとかして人々を解放するということであった。中国の古い医療知識から人々を解放すること、特にアヘンの弊害から人々を救うことであった。日本は開国し、西洋文明を受け入れて欧化政策に取り組んでいた。古い因習や社会制度から人々を解放するということの手段として教育を考えた。キリスト教による青年教育、若いリーダーの育成が日本にとって必要だと考えた。
- (ウ) 関西学院がミッションスクールであり、キリスト教を土台とするということは、人々を解放する、特に若い人たちが学ぶことを通して、解放されることをその土台として持っているということです。何ものにも束縛されない主人（Mastery）として、そして同時に、あらゆるものに自由に仕えていくサーバント（Service）を育てていく。わたしたちは学校法人ではありますが、わたしたちはこの解放の業を土台とし、この解放の業に召されているということを覚えたい。

4. 関西学院における課題

- (ア) 引っ込み思案なキリスト教
- (イ) 経済至上主義の前でくすむキリスト教
- (ウ) 減少するキリスト者
- (エ) しかし、ミッションなき関西学院は、社会の中でその存在意義を失う。
- (オ) 取り組み
 - ①院長室メッセージビデオ「風に思う」 <https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>
 - ②関西学院ブランドサイト <https://mfs.kwansei.ac.jp>
 - ③教職員にもキリスト教・キリスト教的交わりに触れる機会を
 - 1. 教職員の集い（春・秋宗教週間、クリスマス、退職者感謝会）
 - 2. クリスマスメッセージ、イースターメッセージ
 - 3. 現在、夕礼拝を模索中



一つのショックな質問

コロナ感染症と戦った2年間は、我々医療人にとって原点回帰の時間でした。何のために医師になったのか、なぜ看護師として働いているのか、なぜコ・メディカルを選んだのか。激しい現実と日々向かい合っ
 う中で、医師は七ボクラスの質を思い、医師はナイチンゲールの誓詞を振り返ったことでしょう。

あなたたち
 キリスト教のミッションとは
 なんですか？

病院経営者の
 心得と
M&A
 の実際
 本書は医療経営学の
 生きた教科書である！

キリスト教学校は
 思い起こすべきものを持っているのか、
 振り返るべき言葉をもっているのか？

Mastery for Service

キリスト教教育＝人格教育・奉仕

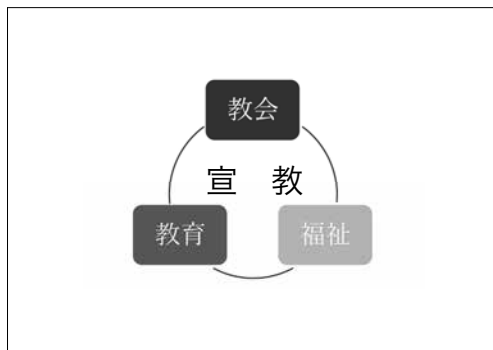
LIFE LIGHT LOVE

1. 医療宣教から教育宣教へ

- ① 1854年 アメリカ南メソジスト監督教会中国伝道の宣教師の長男として上海で誕生。
- ② 1875年 エモリー・アンド・ヘンリー大学卒業
- ③ 1877年 ヴァンダルト大学で医学と神学を修めたウォルターは、新婚間もない妻アイジーを連れて中国に戻り、上海郊外に麻薬中毒療養所を開設した。
- ④ 1881年 ベルビュー大学病院（ニューヨーク）で東洋の疾患を研究。ロンドン大学、エディンバラ大学で最新の医学研究に従事。
- ⑤ 1882年 蘇州病院を開設。
- ⑥ 1884年 北京にメソジスト病院を開設。
- ⑦ 1886年、南メソジスト監督教会日本宣教師部設立に伴い、ランバース一家は30年以上におよぶ中国での生活に別れを告げ来日。
- ⑧ 1889年 関西学院を設立

関西学院創始者 W.R.ランバース

なぜ日本で医療伝道を行わなかったのか？



2. 世界宣教と教育 なぜ宣教師は学校を作ったのか？

(ア) 伝道手段としての教育 学校は、その国の子供や若者たちにキリスト教の教えや価値観に親しむ機会を提供した。教育を通じて、宣教師たちは自分たちの宗教的なメッセージをより効果的に伝えることができた。

(イ) 地元の指導者の育成 学校教育により、地元のキリスト教徒が教師、説教者、地域社会の指導者として育成されることが可能となり、それは宣教活動の長期的な持続可能性にとって重要であった。

(ウ) 文化の理解 宣教師たちは現地の言語や文化を理解する必要性を認識していた。学校は、この文化交流と言語研究の場として機能した。

(エ) 社会発展と自助 宣教師たちは現地の人々を理解し、彼らが自分自身を助けるのを支援したいと考えていた。教育は現地の社会をより良いものに変え、人々が社会経済的な状況を改善する力を与える手段であると考えられていた。

3. 宣教の1つの手段としての教育

(ア) 医療が、教育かということが重要なではなく、それはある意味どちらでもよかったのではないのかと言える。

(イ) その求めるところは、なんとかして人々を解放するということであった。中国の古い医療知識から人々を解放すること、特にアヘンの弊害から人々を救うことであった。日本は開国し、西洋文明を受け入れて欧化政策に取り組んでいた。古い因習や社会制度から人々を解放することの手段として教育を考えた。キリスト教による青年教育、若いリーダーの育成が日本にとって必要だと考えた。

(ウ) 関西学院がミッションスクールであり、キリスト教を土台とするということは、人々を解放する、特に若い人たちが学ぶことを通して、解放されることをその土台として持っているということです。何ものにも束縛されない主人 (Mastery) として、そして同時に、あらゆるものに自由に仕えていくサーバント (Service) を育てていく。わたしたちは学校法人ではありますが、わたしたちはこの解放の業を土台とし、この解放の業に召されているということを見えたい。

解放としての宣教

4. 関西学院における課題

(ア) 引っ込み思案なキリスト教

(イ) 経済至上主義の前でくすむキリスト教

(ウ) 減少するキリスト者

(エ) しかし、ミッションなき関西学院は、社会の中でその存在意義を失う。

- ❶ 一貫教育こそキリスト教教育が行き渡る血流
- ❷ キリスト教活動の強化
- ❸ すべての教学および事業がキリスト教主義教育の観点から意味づける
関西学院大学と関西大学と何が違うの？

いくつかの取り組み



いくつかの取り組み

③ 教職員にもキリスト教・キリスト教的交わりに触れる機会を

1. 教職員の集い（春・秋宗教週間、クリスマス、退職者感謝会）
2. クリスマスメッセージ、イースターメッセージ
3. 現在、タ礼拝を模索中

関西学院ブランドサイト <https://mfs.kwansei.ac.jp/>

クリスマスおめでとうございます

[illegible][illegible]

 March 20, 2015

ボクが初めて購入したのは、「赤い皮が
なめらかな卵黄が白く」の文字の卵。中
を割って、赤い殻膜を剥がすところ、
卵黄の表面、皮を剥がしたとき、

[illegible]

“……”

閉会礼拝

前 奏

讃美歌 352番

聖 書 新約聖書 コリントの信徒への手紙一 第3章10～17節

説 教 「東北学院の歴史の建築家」

祈 祷

頌 栄 544番

後 奏

聖書：コリントの信徒への手紙一 第3章10～17節

¹⁰私は、神からいただいた恵みによって、賢い建築家のように、土台を据えました。そして、他の人がその上に建物を建てています。ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。¹¹イエス・キリストというすでに据えられている土台のほかに、誰も他の土台を据えることはできないからです。¹²この土台の上に、誰かが金、銀、宝石、木、草、わらで家を建てるなら、¹³おのおのの仕事は明るみに出されます。かの日にそれが明らかにされるのです。なぜなら、かの日が火と共に現れ、その火はおのおのの仕事がどんなものであるかを試すからです。¹⁴誰かが建てた仕事が残れば、その人は報酬を受けますが、¹⁵燃え尽きてしまえば、損害を受けます。ただ、その人は、火の中をくぐるようにして救われます。¹⁶あなたがたは神の神殿であり、神の霊が自分の内に住んでいることを知らないのですか。¹⁷神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされます。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。

（聖書協会共同訳）

「東北学院の歴史の建築家」

東北学院大学 宗教部長 原田 浩司

今年、創立から138周年を迎えた東北学院ですが、来る「150周年」が歴史的な一つの節目であることは、皆さんも承知していることだと思います。「TGGV150」という中長期的な目標を掲げて迎える150周年ですが、理事長の年頭あいさつにもあったかと思いますが、カウントダウンすれば残すところ12年ですから「12年」しかないのか、それともまだ「12年」もあると考えるのか、受け止め方は異なるかもしれません。いずれにせよ、間違いなく150周年を迎えます。わたしたち教職員にとりまして、この昨今の10年余りの間に多くの退職者があり、東北学院の働き手に新旧の入れ替わりが起きています。理事長や院長、学長も交

代してきました。おそらくこれからの12年、150周年を迎えるにあたりまして、東北学院の教職員は世代交代の新陳代謝を重ねながら、その時を迎えることでしょう。

さて、去年は関東学院から松田学院長をお迎えしての修養会でしたが、今年の教職員修養会は、関西学院の中道院長を講師にお迎えし、同じキリスト教大学として、関西地方にある学院大学のキリスト教教育の理念やその歴史、実践から、わたしたち東北地方の同じ「学院大学」が、その建学の精神、そしてスクールモットーとして掲げる言葉の意味を再確認する機会を持つことができました。関東、関西、そしてこの東北と、ある意味でそれぞれの地方に置かれたキリスト教大学を相対化しながら、またその多様性を認めながら、しかし、同じキリスト教大学としての共通の原点である聖書に立ち帰り、聖書に聴く。そして、聖書に基づく「建学の精神」に勝ち帰り、そして「LIFE LIGHT LOVE」のスクールモットーの意味に立ち帰る。それがこの修養会が持つ重要な役目であり、ここに参加された皆さんが、その意味をしっかりと受け止めて、日々の業務に帰っていただく。それがこの修養会のとても重要な意味であると言えます。そして、この修養会を締めくくるうえで、御一緒に讃美歌を歌い、聖書の言葉を聞きましたが、先ほど歌われた讃美歌352番ですが、歌詞を注意深く確認しますと、1節の歌詞の中に「こよなき愛 (LOVE)」、2節の歌詞の冒頭で「いのち (LIFE) をあたうる主」、そして3節の最後で「御顔の光 (LIGHT)」と記されています。これはもちろん、スクールモットーである「LIFE LIGHT LOVE」の三文字です。この三つの言葉が揃って歌詞に現れている讃美歌はそれほど多いわけではありませんが、さりとて、珍しいことではありません。東北学院が掲げるスクールモットーは、言わば、神を讃美する言葉であるということです。神を賛美する、それが讃美歌ですが、創立から138年もの間、この讃美歌を歌い続けてきた。それが東北学院という、わたしたちが所属する大学であり、法人です。

さて今日の聖書、コリントの信徒への手紙の言葉では、土台、建築、建てる、という言葉が続いていました。「神からいただいた恵みによって、賢い建築家のように、土台を据えました。そして、他の人がその上に建物を建てています。ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。11 イエス・キリストというすでに据えられている土台のほかに、誰も他の土台を据えることはできないからです。」138年の東北学院の歴史は、建築家が建物を建て上げていく、そのプロセス（経過／過程）に似ています。「建学の精神」という言葉そのものが、建てるという「建築」の「建」の文字が使われます。建築家が建築を立てるように、東北学院という建物は138階建ての高層ビルのように、建てられてきました。建築の担い手も、バトンを受け継ぎながら、ここまで立ててきました。目に見える建物の部分がどんどん高層に積み重なればなるほど、重要になるのはその目に見えていない土台、基礎工事がきちんとなされているかです。建築物のデザインは、その時代の中で変わってきましたし、これからも変わるでしょう。しかし、その土台は変わりません。それでもこの手紙を書いたパウロは「ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。」と忠告します。この東北学院をどのように建てるのか、わたしたちは、そのことに注意を払わなければなりません。

ん。組織の建て方を誤ると、それぞれの部署や学部がバラバラになりかねません。そうではないのです。東北学院という一つの名のもと、一つの土台の上に建てられていることを、もう一度再確認して、私たちは建築家のようにこの大学を立てていかなければなりません。

最後に、先月行われた東北・北海道地区のキリスト教学校教育同盟の大学部研究集会で、大西晴樹学長が講師としてお話しされた中で、三校祖の一人、ホーイ先生の言葉として紹介してくださった文章があります。1892（明治25）年11月18日、北学院開院式でのホーイ先生の演説の一節です。こういうことをおっしゃられました。「信仰、祈り、神との交わり、イエス・キリスト、そして日本人への奉仕のうちに、この学校を存続することを決断したのである。もしこれに失敗するなら、この学校を親身に思ってくれている人びとは、この学校がその頭石へと消えてなくなることに頓着しなくともよい。キリスト者の声が傾聴されなくなったとき、キリスト者の影響力がこれらの校舎で通じなくなったとき、凡ての梁を引き倒し、凡ての煉瓦を粉々にする破壊の手に一切を委ねよ。」（東北学院百年史資料篇』834頁）。大変、激しい言葉遣いですが、創設者であるホーイ先生の厳しさ、本気さが伝わってくる表現です。キリストの土台がこの学校から消えて無くなったら、この学校それ自体が消えて無くなっても構わない。「この学校を親身に思ってくれている人びと」こそ、キリストの土台がこの学校から消えて無くなったら、この学校の存続に思い悩む必要はない。ホーイ先生が念頭に置く「この学校を親身に思ってくれている人びと」は、献金をもって支えてくれた米国本国の人々かもしれませんが、創立から138周年を迎えた今、「この学校を親身に思ってくれている人びと」は、多くの同窓生かもしれませんが、それ以上に、他ならぬ私たち教職員でなければなりません。

150周年に向けて、建築の設計図は時代と共に、その状況に合わせて注意深く変える必要が出てきますが、建築の土台である「建学の精神」は変わらず、揺るぎません。教職員、それぞれ各部署、忙しく業務をこなしながら、変わらぬ日々が過ぎていって、知らない間に150年が目の前に来てしまっていた、という落とし穴に落ちることなく、キリストの土台の上に、あたかも鼻歌のように、楽しげに「LIFE LIGHT LOVE」の讃美歌を日々歌いながら、この東北学院を建てていく。それが、東北学院が迎える12年後、150年を迎えようとする東北学院が描き出すビジョンとなりますように。東北学院の土台にして礎である、イエス・キリストの支えと、励まし、また導きがありますよう、祈ります。

2024年度 宗教協議会開会礼拝説教「当事者意識の継承」

東北学院院長・学長（宗教センター長） 大西 晴樹

聖書：ルカによる福音書 21章5～6節

⁵ある人たちが、神殿が見事な石と奉納物で飾られていることを話していると、イエスは言われた。⁶「あなたがたはこれらの物に見とれているが、積み上がった石が一つ残らず崩れ落ちる日が来る。」
(聖書協会共同訳)

説教：当事者意識の継承

さきほどお読みした聖書の箇所は、イエスがエルサレム神殿の崩壊を予言した個所です。実際、イエスや弟子たちが見とれていたエルサレム神殿ですが、ユダヤ王国を支配したヘロデ王がユダヤ人の歓心を買うために紀元前20年ごろから神殿を改築し、紀元後64年に完成したといわれていますが、70年のユダヤ戦争の際に崩壊、ユダヤ人は離散し、イエスの予言は的中しました。弟子たちが驚嘆した神殿の外観はほぼ出来上がっていて、それは、全面は金箔で覆われ、日の出時にはあたかも太陽光線そのものを見つめるような見事なものであったといわれています。

ところで、皆さんは、本院三校祖の一人であるウィリアム・ホーイ先生の東北学院開院式の演説の中に、同じような個所があるのをご存じでしょうか。学院時報の院長学長の今年の年頭挨拶で引用したので、ご存じの方がいるかもしれません。

「信仰、祈り、神との交わり、イエス・キリスト、そして日本人への奉仕のうちに、この学校を存続することを決断したのである。もしこれに失敗するなら、この学校を親身に思ってくれている人びとは、この学校がその頭石へと消えてなくなることに頓着しなくともよい。キリスト者の声が傾聴されなくなったとき、キリスト者の影響力がこれらの校舎で通じなくなったとき、凡ての梁を引き倒し、凡ての煉瓦を粉々にする破壊の手に一切を委ねなさい」。(「東北学院開院式における W.E. ホーイの演説」1892 (明治25) 年11月18日 (英文)『東北学院百年史資料篇』834頁)。

なぜ、ホーイ先生は、東北学院開院式という祝典の演説の中でイエスの予言のような激しい警告をなしたのでしょうか。実は、1886年に仙台神学校という私塾を創設してから、押川やホーイにとって、東北学院という男子のミッションスクールの開院は苦労に苦労を重ねた結果でした。一方には、同じミッションであるアメリカ・ドイツ改革教会の援助のもとに宮城学院という女子のミッションスクールが一足先に東三番丁に立ち上がりました。他方では、数年で廃校になりましたが、清水小路の現在の日本タバコ JT ビルあたりに、組合教会系の立派な男子校、宮城英学校、すなわち、東華学校が新島襄を校長として、県や市の後押しのもとに立ち上がっていましたので、ホーイにとっては心中穏やかならぬ気持ちで、

1891年の開院式を迎えたわけであります。とりわけ、南町通りの現在の仙建工業のあたりに建てられた神学部の建物は、残念ながら1945年7月の仙台大空襲によって焼失し現存していませんが、それまで仙台で最も美しい建物のひとつといわれた建物でした。全体は赤レンガ造りのいわゆるカレッジゴシック様式の二階建てで、一部は四角の五層の塔（やぐら）を持ち、内部には四つの教室と礼拝堂、それに教授のための個室をいくつか備えていました。ホーイ先生は、竣工したばかりのこの建物を念頭に、開院式当日に「キリスト者の声が傾聴されなくなったとき、キリスト者の影響力がこれらの校舎で通じなくなったとき、凡ての梁を引き倒し、凡ての煉瓦を粉々にする破壊の手に一切を委ねなさい」と述べたのです。

私は、ここに本院創立者の当事者意識を見る思いがします。ホーイ先生は決して乱暴な言葉使いをする方ではありませんでした。押川から委ねられた神学生に寮を提供し、生活の支援をし、南町通りの用地取得の際には、ミッションボードが資金を出し渋っていた折に、自ら肩代わりして用地の取得に動いた宣教師だったのです。

翻って、それから134年を経過した現在はどうでしょうか。ホーイ先生がもっていた当事者意識が薄れ、キリスト者が犠牲的に献身しなくとも、法人は、生徒学生の授業料で十分やっていけるし、キリスト者が声をあげなくとも、有能な理事長や学長、校長がいれば十分やっていけるという、他者依存の考え方が蔓延していないでしょうか。学校法人東北学院は、来年度から寄付行為を改訂し、法人の理事会におけるキリスト者比率を現状に合わせて減らした半面、寄附行為第三条において、「この法人はキリスト教に基づいて徳育を施すとともに」という記述から、「この法人はキリスト教に基づいて徳育を施すことを不変とし」と述べ、「建学の精神」をよりいっそう明確にしました。また各校の宗教主任には、定員枠の中で、評議員会の一員に加わってもらうことにしました。

もちろん、創業者の時代と学校法人の時代では、キリスト教教育におけるクリスチャンの役割が異なるといえるかもしれませんが。お気づきの方がいらっしゃるかもしれませんが、『東北学院百年史』の本文では、Christian voices、Christian influences という言葉が「キリスト教的な声」、「キリスト教的な影響力」と翻訳されています。今回私はそれらを敢えて「キリスト者の声」「キリスト者の影響力」という言葉で訳しました。そもそも、キリスト者が声を上げ、影響力を行使しなければ、「キリスト教的な声」も、「キリスト教的な影響力」もないのではないのでしょうか。われわれ、東北学院を引き継ぐ者は、信仰を有無にかかわらず、校祖から託された「建学の精神」に変わることなく永遠に忠実でありたいものです。

2024年度 東北学院大学卒業礼拝説教「LIFE LIGHT LOVE」

東北学院大学 宗教部長 原田 浩司

聖書：ヨハネの手紙一 4章7節～11節

⁷愛する人たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれた者であり、神を知っているからです。⁸愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。⁹神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、私たちが生きるようになるためです。ここに、神の愛が私たちの内に現されました。¹⁰私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めの献げ物として御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。¹¹愛する人たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。
(聖書協会共同訳)

説教：LIFE LIGHT LOVE

皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日は東北学院大学の学生としてのこの押川記念ホールでの最後の礼拝となります。大学宗教部長として卒業される皆さんに聖書の言葉を贈ります。東北学院のスクールモットーである「LIFE LIGHT LOVE」の中から「愛 (LOVE)」について、学生としての最後の礼拝で最終確認をしたいと思います。

さて、今日のこの短い箇所では何回「愛」の文字が登場しているのでしょうか？一つ一つ数えてみれば答えが出ます。13回も使われています。こうして何度も繰り返されていますが、もし皆さんが、小さな子供に対して同じことや同じ言葉を何度も繰り返し重ねる時、注意をする時というのは、どういう時でしょうか？それは聴き手に覚えて欲しい時、大事なポイントとして忘れて欲しくない時ではないでしょうか？東北学院のキリスト教教育の中でこれは忘れて欲しくない、いつまでも覚えていて欲しい、それが「LIFE LIGHT LOVE」という三つの言葉に集約されています。

この手紙を書いたヨハネは「愛」について、三つのポイントから語っています。1つめに「LOVE」は名詞よりも動詞であるということです。すでにそこにあるものではない。私たちが行動、生き方によってそこに新たに創造されるものです。それが一点です。そして、動詞としてのLOVEは、(愛される)受動的ではなく(愛する)能動的である、ということです。今日の箇所に「愛される」という受動的の表現が終盤に一度出てきますが、それ以外では「愛する」「愛し合う」という主体的、能動的な営みとして表されています。されるのを待つ、誰かがしてくれるのを待つ、「受け身」の側ではなく、積極的(ポジティブ)、主体的な動詞です。このような愛を、聖書は「アガペー(ギリシア語)」という言葉で、＜見返りを求めない無償の愛＞として、神がわたしたちに人間に注ぐ愛として教えてきました。それが二点めです。そして最後に、神があなたを愛している、それがあなたの愛の源泉であるというこ

とです。神は、見返りを求めずに、あなたを愛している。まったくの溺愛と言っても過言ではない愛で、あなたを愛している。聖書は、このことを、様々な箇所で、言葉を変えて伝えています。あなたが自分を愛し、隣人を愛し、そしてもし神を愛するとすれば、それは神に由来します。神があなたを、私を愛している。だから、あなたがたも「互いに愛し合いなさい」。今日の聖書は最初と最後が、この互いに愛し合う」という言葉でサンドウィッチされています。

21世紀の現代は、社会の分断が顕著になり、価値観が二極化し、民族やイデオロギーが対立し、互いにけん制し、互いに批判し、互いに反目し、互いに敵対し合う、そのような世界情勢が見え隠れしています。他方が譲歩するまで、一方の側がとことん追い詰めるような、まるで人間が支配者として君臨する世界が広がりつつあります。であればこそ、本日卒業する皆さんには、これから続く長い人生（LIFE）において、東北学院の基督教教育で学んだ「LIFE LIGHT LOVE」の言葉を、命を、光を、そして愛を思い出してください。私たちの生きる世界は、神が創造された世界、神が愛している世界。私たちが生きる価値のある、豊かな世界です。そしてその世界を造り、社会を造るのが「LIFE LIGHT LOVE」の力です。皆さんも、東北学院での基督教教育を通してそのような力を帯びた一人として、これからの人生の活躍を期待し、祈念いたします。

<祈祷>

天の主なる神さま。ここに卒業礼拝、卒業式を開催することができ感謝いたします。今日まで過ごしてきた4年間、入学時は新型コロナウイルス感染症の試練もありましたが、一人ひとりがこうして学びを無事に終えることができ、重ねて感謝いたします。今、日本をはじめ世界は過渡期を迎えています。戦争や侵略、内戦、首都圏と地方の格差、イデオロギーによる分断など、人も社会も世界もバラバラに分裂しかけています。主なる神、どうか今日をもって東北学院大学を卒業する一人ひとりの人生の前途を祝福し、一人ひとりが、互いに愛の絆を心に留め、東北学院の「LIFE LIGHT LOVE」の基督教の精神を通して、人生を豊かに生きることができますようお導きください。東北学院大学の真の創設者イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

2024年度

東北学院中学校・高等学校 宗教活動報告

2024年度 東北学院中学校・高等学校 宗教活動報告

東北学院中学校・高等学校 宗教主任 松井 浩樹

学年末試験が終わり、点数を確認したあとの授業から震災についての授業を展開します。当時、たまたま録画した震災から半年後の「大川小学校」を扱ったNHKスペシャル題材にしています。日が経つにつれ、当時の大川小学校で起こったことを知らない生徒が増えているので、3月11日を前に少しでも何かを感じ取ってくればという思いです。中高から車で1時間と少ししか離れていないこともあり、キリスト教青年会ではこれまで3回、訪問しており、昨年の夏に訪問したときはきれいな公園のような佇まいで、資料館のような建物を自由に見学できていました。最初に行った時は、瓦礫を端にどかせただけの光景で、時の流れを感じます。今年度入学の中学1年生は、震災当時、大多数がまだこの世に生まれていない世代となります。しっかりと次世代に伝えることで、少しでも防災、減災につながればと思います。



賛美礼拝

2024年7月1日（月）

ゲスト：矢寄風花さんによるメッセージとピアノの弾き語り



ミッションスクール7校合同クリスマス募金

2024年12月7日（土）



クリスマスツリー点灯式

2024年11月29日（金）



高3卒業説教

2025年1月21日（火）

「イエス・キリストに倣う隣人愛」
田中信矢牧師（日本バプテスト連盟南光台キリスト教会）

1. 宗教部

部 長 松井浩樹
副部長 鈴木雅光
教 諭 成 智圭
講 師 清野俊也

2. 礼 拝

8時30分から45分までの15分間、中学生と高校1年、高校2年と3年の二グループに分けて1週間交代で礼拝堂にて礼拝を捧げる（その他の学年は放送による礼拝）。高校3年が不在以降は中学1年から高校2年まで全員で入堂して礼拝をささげる。テキストは、前期はマルコによる福音書、後期はマタイによる福音書の連続講解。

礼拝司会・説教者は基本的に月曜日、松井浩樹宗教主任、その他はキリスト者教員、月一度のペースで宗教センターチャプレン、佐藤由子先生、聖書科非常勤講師としても勤務されている田中信矢先生（南光台キリスト教会牧師）、松本のぞみ先生（東北教区巡回教師）に担当していただいた。1月は大西晴樹院長・学長をお招きし新年礼拝とささげ、西間木順榴ヶ岡高校宗教主任にも担当していただいた。

3. 授 業

各学年週一時間、必修科目として実施。キリスト教の基礎知識、価値観、歴史を学び、人格形成にも配慮し、展開することをねらいにしている。担当教員は以下の通りである。

学 年	担 当 者	主な内容
中学1年	松井浩樹・成 智圭	キリスト教入門
中学2年	松本のぞみ	新約聖書入門
中学3年	成 智圭	旧約聖書入門
高校1年	松井浩樹	旧約聖書Ⅱ・3要文
高校2年	田中信矢・成 智圭	キリスト教の歴史Ⅰ
高校3年	松井浩樹・田中信矢	キリスト教の歴史Ⅱ

4. 早天祈祷会

毎週火曜日、朝7時50分から8時00分まで松井浩樹宗教主任、成智圭教諭のもと実施。朝の礼拝で歌う讃美歌を歌い、司会者が詩編を交読、短く奨励、参加者で祈祷・主の祈りをささげる。

主に宗教部の教員が参加。平均出席4名。

5. キリスト教青年会

夏の修養会 8月5日（月）～6日（火）

南三陸まなびの宿「いりやど」（本吉郡南三陸町入谷鏡石5-3）

0226-25-9501＜宿泊＞

石巻市震災遺構大川小学校（石巻市釜谷字葦島94）＜研修＞

株式会社 椎彩杜（しいさいど）（本吉郡南三陸町入谷字桜沢516）

0226-46-2237＜ボランティア先＞

教員2名 生徒8名 参加

春の修養会 2025年3月27日（木）8：30～14：30

相馬市伝承鎮魂祈念館（福島県相馬市原釜大津270）見学

教員2名 生徒4名 参加

6. 共に聖書を学ぶ会

年4回、保護者（卒業生も含む）有志と宗教部教員による聖書の学びである。

第258回 5月27日（月）15時45分 本校会議室1

出エジプト記 20章1節-21節 「十戒～その②」 松井浩樹宗教主任

保護者25名参加。

第259回 9月2日（月）15時45分 本校会議室1

ルカによる福音書 15章11節-24節 「放蕩息子」 成智圭教諭

保護者20名参加。

第260回 10月28日（月）15時45分 本校会議室1

マタイによる福音書 18章6-14節、ルカによる福音書 15章1-7節

「迷わずにいた99匹の羊」 松井浩樹宗教主任

保護者20名参加。

第261回 12月6日（金）13時30分 本校会議室1

司会 松井浩樹宗教主任

奨励 関川祐一郎先生（石巻山城町教会牧師）

ルカによる福音書 2章8-20節 「大きな喜び」

保護者30名参加。

7. 第42回 教職員修養会

主 題 『聖書にきく』～「礼拝と音楽～なぜ賛美歌を歌うのか？」

日 時 2024年8月19日（月） 9時00分～13時00分

場 所 本校会議室1

講 師 椎名雄一郎先生（東北学院大学文学部総合人文学科教授 大学宗教主任）

参加者 20名

8. 行 事

入 学 式	4月8日(月) 10時00分 中学校 14時00分 高等学校
寄 宿 舎 入 舎 式	4月8日(月) 17時00分
1 学 期 始 業 式	4月9日(火) 入堂と放送による
イースター礼拝	4月22日(月) 田中信矢先生(南光台バプテスト教会牧師)
創 立 記 念 礼 拝	5月15日(水) シュネーダー先生説教テープ
墓 前 礼 拝	5月15日(水) 松井浩樹宗教主任(生徒8名参加)
ペンテコステ礼拝	5月27日(月) 松本のぞみ先生(東北教区巡回教師)
1 学 期 終 業 式	9月27日(金) 入堂と放送による
2 学 期 始 業 式	10月1日(火) 入堂と放送による
宗教改革記念礼拝	10月31日(木) 多田裕志先生(塩釜東教会牧師)
ツ リ ー 点 灯 式	11月29日(金) 13:30礼拝堂にて 松井浩樹宗教主任 生徒、教職員約300名 出席
クリスマス月間	12月2日(月)～12月24日(火) 松井宗教主任 名越教諭 橋本教諭 高田教諭 成教諭 竹内講師 田中先生(南光台キリスト教会牧師) 高木講師 松本先生(東北教区巡回教師)
クリスマス礼拝	12月24日(火) 福島純雄先生(日本基督教団福島教会牧師) 中学生・高校3年は入堂し、高校1年・2年は教室でユーチューブ配信。
クリスマス献金	155,494円 (仙台キリスト教育児院 77,747円、小百合園に77,747円を送金)
高校3年卒業説教	1月21日(火) 説教 田中信矢先生(南光台キリスト教会牧師)
高等学校卒業式	3月1日(土)
東日本大震災追悼礼拝	3月7日(金) 松井浩樹宗教主任
2 学 期 終 業 式	3月18日(火)
中 学 校 卒 業 式	3月19日(水)

2024年度 東日本大震災追悼礼拝

東北学院中学校・高等学校 宗教主任 松井 浩樹

聖書：詩編23編 1～4節

¹【賛歌。ダビデの詩。】

主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

²主はわたしを青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに伴い

³魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく

わたしを正しい道に導かれる。

⁴死の陰の谷を行くときも

わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖

それがわたしを力づける。

説教

震災から明日で14年となります。今ここに、生かされてている我々の証として追悼の意を表す礼拝を捧げています。

我々、東北学院中学校・高等学校は、卒業式を終えたばかりの高校3年生、2人を亡くしました。2人とも山元町で津波に遭いました。入学予定者であった、小学6年生の児童1名は石巻で、同じく高校へ入学予定であった中学3年生の1名も関東で、亡くなっています。さらに住宅が全壊した当時の生徒は110名でありました。さらに、住宅の大規模半壊87名、半壊が220名、一部損壊が479名と、在校生の半分は何かしらの被害を受けました。東北学院大学の学生は5名が亡くなり、入学予定者の2名がなくなっています。震災によって、経済支援の申し出があった大学生は1,893人、我々中高は370人、榴ヶ岡は170人、幼稚園は29人であります。14年前の大震災で東北学院全体が、大きな悲しみと倦怠感に包み込まれたのであります。

今日の聖書です。死の陰の谷を行くときも私は災いを恐れない。あなたが私とともにいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖、それが私を力づける。南海トラフがもたらす、大きな被害が叫ばれています。また、北海道や東日本を中心に、再び大きな地震がくるとの予測がなされているさなかに能登半島地震、さらには記憶に新しい大船渡での大規模な山林火災が起きました。そのやがて起こりうる大災害にまた、何万人の方々が犠牲になるのでしょうか

か。そうではなく、だから「防災」「減災」の重要性が今、問われているのです。神様から今を生きることを促されている私達一人ひとりであります。その災害に、どう向き合うのか。まず、自分のこととして向き合うひととき、それが私達、東北学院にとっての3月11日なのであります。

音楽部による奉唱です。ロイド・ウェーバー 「ピエ・イエズ」

祈りましょう。

主イエス・キリストの父なる神様、今日も豊かな命が与えられ、追悼礼拝をささげ1日を始めることのできる幸いを感謝いたします。

私達と苦しみをともにされる、あたたかな慰めを心にとめさせてください。特に、3月11日に悲しみを新たにされる方に、主が寄り添い、与えられた生を、これからもしっかりと生き続けさせてください。

主の御名によって祈ります。アーメン。

2024年度

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教活動報告

2024年度 東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教活動報告

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任 西間木 順

5年ぶりに全生徒が礼拝堂に集まり礼拝をささげることができました。クリスマス礼拝だけではなく、創立記念日礼拝を泉キャンパス音楽堂で捧げました。3月は卒業式以降、移転作業のため、生徒は自宅学習となりました。2月28日が榴の礼拝堂に一同が集まってささげる最後の礼拝となりました。「3.11. 東日本大震災を覚えて」の特別礼拝は、生徒有志、教職員で捧げました。

教職員対象のキリスト教教育研修会では、東北学院大学文学部総合人文学科の川島堅二先生に『大学における宗教リテラシー教育の実践—とくにカルト予防の観点から』と題するご講演をしていただきました。ネットを通じて高校生もカルト宗教のターゲットになっていることを知ることができました。

多くの方々の祈りと支えがあり、2024年度の活動を行うことができました。感謝です。2025年4月より、大学泉キャンパス2号館に移転します。礼拝は、音楽堂をお借りしてささげることになります。これからも職員が心を合わせ、思いを一つに神から託されているキリスト教教育を行っていきたいと考えております。



校祖墓前礼拝

2024年5月15日（水）

「信仰によって義とされて」

中本純牧師（日本基督教団仙台東六番丁教会）



クリスマス・イルミネーション点灯式

2024年12月4日（水）



ミッションスクール7校合同クリスマス募金

2024年12月7日（土）



クリスマス礼拝

2024年12月24日（火）

「救い主の誕生」

長尾厚志牧師（日本基督教団仙台ホサナ教会）

1. 宗教部 構成メンバー（敬称略）

部 長 宗教主任 西間木順

1 年次 松山彩子（副部長） 2 年次 稲垣実悟、館内彩 3 学年 南部悦子、山口稔

2. 年間聖句 主題「共同体としての学校」

「受けるよりは与える方が幸いである。」（使徒言行録20章35節）

①礼拝する共同体 ②共に学ぶ共同体

目標 キリスト教主義に基づき人格を陶冶する。

①隣人への愛の実践と感謝の心を育くむ

②聴く・祈る・歌う学校へ

3. 礼拝 8時40分～8時55分（15分） ※4月より全生徒、礼拝堂

参 加 者：全生徒、全教職員

テキスト：マルコによる福音書の連続講解、創世記・エジプト記より抜粋、

テサロニケの信徒への手紙一、エフェソの信徒への手紙

説 教 者：（学内）西間木順宗教主任、後藤昌男教諭、最上巖教諭、稲垣実悟教諭

佐藤由子先生（宗教センターチャプレン）

（牧師）中本純牧師（日本基督教団仙台東六番丁教会）

加藤秀久牧師（日本基督教団仙台南伝道所）

長手陽介伝道師（日本基督教団泉高森教会）

奏 楽：最上巖教諭、西間木順宗教主任

4. 早天祈祷会 毎週水曜日8時～8時15分

宗教主任の司会で、讃美歌を歌い、「詩編」を輪読し、参加者で祈祷をささげる。

5. 授 業

各学年週1時間、必修科目として実施

学年・コース	使用テキスト／内容	担 当 者
1学年全コース （8クラス）	『キリスト教とは何か』 『東北学院の歴史』	西間木順宗教主任
2学年全コース （9クラス）	『旧約聖書を読もう』	西間木順宗教主任（3クラス） 加藤秀久牧師（6クラス）
3学年全コース （8クラス）	『旧約聖書を読もう』 『新約聖書を読もう』	西間木順宗教主任（2クラス） 中本 純牧師（6クラス）

学年・コース	使用テキスト／内容	担 当 者
3学年総進コース TG 聖書 (3 クラス)	『東北学院の歴史』	西間木順宗教主任

※非常勤講師による説教動画視聴レポートおよび教会レポート それぞれ年2回提出。

6. 特別礼拝・行事

始 業 式	4月8日(月)	
第66回入学式	4月9日(火)	
イースター礼拝	4月26日(金)	説教者 日本基督教団仙台宮城野教会 齋藤篤牧師 説教題 『おはよう』
創立記念週間	5月7日(火)～14日(火)	
創立記念式典	5月15日(水)	説教者 野村信先生(元東北学院大学) 説教題 『命、光、愛、世界のために』
創立記念墓前礼拝	5月15日(水)	説教者 中本純牧師(日本基督教団仙台東六番丁教会) 説教題 『信仰によって義とされて』
ペンテコステ礼拝	5月31日(金)	説教者 関川祐一郎牧師(日本基督教団石巻山城町教会) 説教題 『聖霊に満たされて』
伝 道 週 間	7月11日(木)～18日(木)	説教者 中林撰氏(日本国際ギデオン協会) 成智圭先生(東北学院中学校高等学校聖書科) 原田浩司先生(東北学院大学宗教部長) 大西晴樹先生(東北学院院長・東北学院大学学長) 松井浩樹先生(東北学院中学校高等学校宗教主任)
閉 講 礼 拝	7月19日(金)	
キリスト教教育研修会	8月22日(木) 13時30分～15時30分	講 師 川島堅二先生(東北学院大学文学部総合人文学科教授) 講演題 『大学における宗教リテラシー教育の実践ーとくにカルト予防の観点から』
開 講 礼 拝	8月26日(月)	
前期終業式	9月27日(金)	

後 期 始 業 式 9月30日(月)

宗教改革記念日礼拝 10月31日(木)

説教者 中家契介牧師(日本キリスト教会仙台黒松教会)

説教題 「神との間の平和」

クリスマスイルミネーション献式 12月2日(月)

クリスマス週間 12月16日(月)～23日(月)

16日(月) 西間木順宗教主任

17日(火) 原田浩司先生(大学宗教部長)

18日(水) 大西晴樹先生(院長)

19日(木) 松井浩樹先生(中学・高等学校宗教主任)

20日(金) 瀬谷 寛牧師(日本基督教団仙台東一番丁教会)

23日(月) 成 智圭先生(中学・高等学校聖書科)

クリスマス礼拝 12月24日(火) 泉キャンパス音楽堂

説教者 長尾厚志牧師(日本基督教団仙台ホサナ教会)

説教題 「救い主の誕生」

開 講 礼 拝 1月8日(水)

卒 業 礼 拝 1月24日(金) 4校時目 対象 3学年

説教者 関川祐一郎牧師(日本基督教団石巻山城町教会)

説教題 「目標を目指して」

第64回卒業式 3月3日(月) 泉キャンパス音楽堂

終 業 式 3月24日(月) 泉キャンパス音楽堂

※3月4日(火)～3月21日(金)は自宅学習期間のため、礼拝はありませんでした。

7. キリスト教学校教育同盟第9回全国災害支援連絡会議

日 時 8月7日(水)～8日(木)※9日(金) オプショナル・ツアー

場 所 熊本県熊本市・益城町・西原村・阿蘇市・球磨町

参加者 西間木順榴ヶ岡高等学校宗教主任(実行委員)

8. キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区 新任教師研修会

日 時 9月11日(水)

会 場 酪農学園付属とわの森三愛高等学校

参加者 高橋祥亮常勤講師、西間木順宗教主任

9. キリスト教学校教育同盟東北・北海道地区 教育研究集会中高部会

日 時 10月17日（木）～18日（金）
会 場 東奥義塾中学校・高等学校
参加者 稲垣実悟教諭、西間木順宗教主任

10. キリスト教学校教育同盟代表者会議

日 時 11月1日（金）～2日（土）
参加者 河本和文校長（Zoom 参加）

11. ボランティア

生 徒 会 ノーモア注射～希望の本プロジェクト／エコキャップ回収
生徒有志 ありのまま舎帯封糊付け作業
全 生 徒 クリスマスカード制作
送り先：結いの会、ありのまま舎、コスモス向陽台、コスモス松陵、ライフケアセンター名取

年間聖句「受けるよりは与える方が幸いである」 (使徒言行録20章35節)

東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任 西間木 順

新年度が始まりました。今年度は、この礼拝堂に全クラスが集まり礼拝を捧げます。学年という違い、コースという違い、クラスという違いを超えて、心を合わせ、思いを一つに、声をそろえて、讃美歌を歌い、また主の祈りをささげていきましょう。また、聖書に書かれた言葉を聞いて、一人一人が、自分の心と対話し、これからの生き方を考えていきましょう。

聖書には、どういう生き方をすればいいのか、ということが書かれてあります。ただ、ここで私たちが聖書を読むときに気をつけなければいけないことは、「共同体」という視点を持つ、ということです。「共同体」とは、みんなで協力し合って生きていこうとする集まりのことです。私たちは、ともすれば、自分の利益だけを考えて行動してしまいます。あるいは、だれかが自分のために何かをしてくれることが当たり前だと思ってしまいます。

確かに私たちは、この世に生を受けてから、誰かから愛されたり、与えられたりしてきています。しかし、私たちが、誰かから愛されていると気づいたときに、私たちの心が愛で満たされていったときに、おのずと、他者を愛することができるようになっていきます。

主イエスが私たちに教えてくださった大事なことの1つに隣人への愛があります。「隣人を自分のように愛しなさい。」です。ここには、2つの愛すべき対象が教えられています。

1つ目の愛すべき対象は、「自分」です。2つ目の愛すべき対象は、「隣人」です。自分を愛するとは、神から、他者から自分は愛されていることに気づくことです。自分が神から、他者から愛されていることに気づくことができれば、その自分の受けた愛を、他者に分け与えることができるようになります。他者に寄り添う生き方ができるようになるのです。これが隣人への愛です。ちなみに、始業式、入学式で読んだ聖書の箇所には、「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。」と書かれてありました。これも、同じことを教えているのです。

さて、今年度の年間聖句は、今日ともに読みました、使徒言行録20章35節「受けるよりは与えるほうが幸いである」です。何を与えるのか？自分が受けた愛を、見返りを求めずに与えるのです。言い換えるならば、聖書を通して教えられている「愛」を用いて、他者に寄り添う生き方、他者と協力して生きようとすることです。まだはっきりとわかっていないかもしれません。誰か模範となる人がいれば、その人の行動を見て、真似てみることもできるでしょう。聖書は、主イエスを、あなたの生き方の模範としなさい、と教えているのです。主イエスを模範として、自分に与えられている愛を、他者に与える行動を、他者に寄り添う生き方を、他者と協力しあう行動をしてまいりましょう。

そして、この学校に連なる一人一人が、「今日もこの学校に来てよかった」と思える学校を、ともに造り上げてまいりましょう。

2024年度

東北学院幼稚園 宗教活動報告

2024年度 東北学院幼稚園 宗教活動報告

東北学院幼稚園 園長 島内 久美子

「かみさま、まぶしい！」これは部屋から外に出た園児が思わず口に出した言葉です。このエピソードを担当より聞いた時に、この園児は日頃から神さまと心の中でたくさん話をしていると感じ、キリスト教教育が子ども達に確実に浸透しているのだと嬉しく思いました。

幼稚園に入園し、突然、神さま、イエス様にお祈りすることが日常となりますが、幼子の心はとても柔らかく、素直に受入れていく姿に「幼子のように…」とイエス様が言われた言葉を思います。また、2024年度も宗教センターチャプレンによる月一回の礼拝説教を継続することができ、その中には楽器を使った賛美礼拝であったり、英語で讃美歌のフレーズを園児が歌ったりするなど、今までにない視点から礼拝を守ることができました。

2024年度も幼子と共に祈ることができた幸いに感謝したいと思います。



英語活動
2024年4月15日（月）



土樋キャンパス訪問
2024年5月16日（木）
理事長・院長先生にお花をプレゼント



感謝祭礼拝
2024年11月22日（金）



クリスマス礼拝
2024年12月19日（木）

1. 年間主題

さあ、漕ぎ出そう 奏でよう

2. 年主題聖句

わたしは道であり、真理であり、命である。〈ヨハネによる福音書 14章16節〉

3. 礼 拝

クラス礼拝 毎週金曜日（10時10分～10時20分）

合同礼拝 月曜日～木曜日（10時20分～10時50分）

4. 特別礼拝

日 時	説教・祈祷者	内 容
4月9日（火）	海老名直子（教頭）	2024年度始業礼拝
4月10日（水）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	入園式
4月12日（金）	島内久美子（園長）	イースター礼拝
5月16日（木）	院長 大西晴樹先生	ラーハウザー記念礼拝堂礼拝
5月31日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
6月7日（金）	柏木真理子（教員）	花の日礼拝
6月28日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
7月12日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
7月19日（金）	森郷キャンプ場代表 松田献氏	サマーデイキャンプ
9月13日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
10月3日（木）	榴ヶ岡高等学校宗教主任 西間木順先生	特別伝道礼拝
10月18日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
11月15日（金）	東北学院中学校・高等学校 宗教主任 松井浩樹先生	特別伝道礼拝
11月22日（金）	千葉直子（教員）	感謝祭礼拝
11月29日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	アドベント礼拝
12月19日（木）	宗教センター	クリスマス礼拝

日 時	説教・祈祷者	内 容
1月31日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
2月28日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	特別伝道礼拝
3月11日（火）	島内久美子（園長）	東日本大震災追悼礼拝
3月14日（金）	宗教センターチャプレン 佐藤由子先生	卒園式
3月19日（水）	千葉直子（教諭）	2024年度修了礼拝

5. 園児対象

- (1) 毎月の聖句暗唱
- (2) 聖書物語絵本・紙芝居
- (3) 聖句入り絵カード帳
- (4) クリスマス礼拝での聖誕劇

6. 教師対象

- (1) 月刊誌『キリスト教保育』輪読
- (2) 祈祷会
 - 〔第1回〕 日時：7月9日（火） 15時15分～16時15分
場所：幼稚園
 - 〔第2回〕 日時：2月10日（月） 15時15分～16時15分
場所：幼稚園
- (3) 聖書の学び
 - 日時：1月7日（火）13時30分～15時
 - 場所：幼稚園
 - 講師：吉田新先生（宗教センター所員）

7. 保護者対象

- (1) クリスマス準備会
 - 日時：11月27日（水）10時00分
 - 場所：幼稚園ホール
 - 講師：佐藤由子宗教センターチャプレン
 - 内容：「クリスマスを知る」
- (2) アドベント礼拝出席

8. 研修会（キリスト教保育連盟）

《東北部会：総会及び園長・設置者研修会》

日時：6月7日（金） 13時00分～17時00分

場所：コラッセ福島

講師：西内みなみ氏（学校法人コングガレシオン・ド・ノートルダム理事長）

内容：「働きやすい職場になるために」

《東北部会：第2回研修会》

日時：8月17日（土） 13時00分～16時00分

講師：勝尾栄氏（福音館書店「母の友」編集部前編集長）

場所：山形県生涯学習センター

内容：「なぜ絵本を読むのでしょうか？」

《東北部会：第3回研修会》

日時：10月19日（土）

場所：利府聖光子ども園

講師：赤木敏之氏（関西学院幼稚園前園長）

内容：「キリスト教保育が大切にしていること」

クリスマス準備会

東北学院幼稚園 園長 島内 久美子

毎年クリスマスを迎えるにあたり、保護者にもクリスマスを理解していただき、クリスマスに向かう園児をご家庭でも支援していただけるようにクリスマス準備会を行っています。現在は幼稚園で行っていますが、多賀城キャンパス移転前は礼拝堂を借用し実施していました。

クリスマスツリーが飾られた礼拝堂で聴くパイプオルガンの演奏は、子育ての只中にある保護者にとって、この時期町中に溢れる賑やかな装飾と心躍るクリスマスソングとは違い、荘厳なパイプオルガンの音色によって日常から離れ、心静かになれるひと時となり、その後、大学宗教主任よりクリスマスについての講和を聞き、園児同様、本当のクリスマスを知る大切な機会となっていました。

その後、保護者は幼稚園に移動し、幼稚園クリスマス礼拝後の祝会で行われる子どもとのプレゼント交換で渡す、メッセージを添えた手作りのクリスマスカード作りを行います。このカード作りの一連の計画や準備はすべて PTA 役員によって行われ、毎年担当役員の方が可愛らしいデザインを決め、苦手な方でも簡単に作れるよう配慮しながら細かなキットを作ってくださいます。

実際のカードには、我が子が好きなキャラクターのシールが貼られていたり、リボンやビーズでデコレーションされていたりと、忙しい中でもひと時、子どものことを思い作っている様子が伺われます。園児も同様に家族を思いながら幼い手でクリスマスプレゼントを作り「お母さんに内緒にしているんだ」「びっくりするかな」と今まで貰う側だった自分が、家族にプレゼントを作っていることが嬉しく、渡せる日を楽しみに待つ様子が見られます。当日は園児も保護者も穏やかな笑顔に包まれ、神さまの平安に満たされるひと時となります。

現在、多賀城キャンパスが移転しましたが、継続して実施しています。園のリードオルガンでクリスマスの讃美歌を聴き、宗教センターチャプレンによるクリスマス講和でクリスマスの意味を伝えています。両親就労の家庭が大幅に増え、以前より参加者が減ってきていますが、クリスマス講和でクリスマスの意味を知り、プレゼント交換で相手を思う愛の心を実践することで、本園のキリスト教教育を伝えていくこととなり、そして、園児一人ひとりの家庭が愛と喜びに満ちたクリスマスとなることを願っています。

学校法人東北学院 「宗教活動報告書」

第6号（2024年度）

発 行 日 2025 年 6 月 3 日

発行責任者 宗教センター長 大西 晴樹

編集責任者 宗教センター主任 原田 浩司

出 版 社 株式会社佐々木印刷所

問い合わせ先 東北学院宗教センター

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1

電話 022-354-8310

